京城日報 十五日夕刊

●石井特使桑港到著 米國官民の熱誠なる歡迎振

石井特派大使は十二日午後二時桑港に到著し歡迎員の出迎を受けたり米國步兵二個聯隊儀仗兵として石井大使を護衛しつゝ桑港市役所まで行進し市役所にて桑港市長の盛大なるレセプションあり其の際大使は答辭を述べ一場の演説を試みたり十三日夜は日本人會歡迎晩餐會、十四日夜は桑港市民の歡迎晩餐會ありたり(桑港電報)

●支那宣戰と大總統令

大總統命令に曰く「支那は獨逸の潜航艇戰が國際公法に違犯する事を以て抗議をなせしも獨逸は顧みざる爲め曩に斷交せしが獨逸は猶ほ其の無謀なる作戰を改めず又た墺國は獨逸の友邦として獨逸と同一方針を執るを以て支那は已むを得ず十四日午前一時より獨墺兩國と交戰狀態に入ることを宣言し兩國との條約は一切無効とし向後兩國民の取扱は國際公法による事とす官民克く其の意を體せよ」と(北京特電)

●獨亞銀行愈々封鎖

公使館區域にある獨亞銀行閉鎖封印につき支那政府は十四日午前八時佛國公使に對して其處分を請ひたるを以て佛國公使館書記官に同國陸軍將校一名と日英露各國兵一名づゝを附して派遣し十一時封印をなしたり米國公使は本國政府の命令を俟たざれば兵を派し難しと答へたるを以て米國兵は之に參加せず、獨亞銀行は不日精算に附せらるべく中佛銀行重役ビヤノツト氏支那政府より該精算人たるを委任せらる(北京特電)

●墺國公使へ旅券交附 墺國兵は全部俘虜

支那政府は十四日午前九時宣戰布告書を墺太利公使及び和蘭公使に交附せり墺國公使は便船あり次第退去せしむべく旅券を交附し支那駐屯の墺國兵は全部俘虜となす事としたり(北京特電)

●墺公使の安全保障

協商國側は駐支墺國公使本國歸還に付其旅程に關する安全を保障せり(北京電報)

●宮尾長官通過 新任關東都督府民政長官宮尾舜治氏は十五日午前九時四十分發旅順へ向ひ赴任せり(安東縣特電)

●桑原大尉過通 横須賀海軍航空隊附海軍大尉桑原鄕雄氏は歐洲に於ける航空戰の實況視察の爲め派遣を命ぜられ渡歐の途十四日夜入港の關釜連絡船さくら丸より釜山上陸同夜十一時北行列車にて歐洲に向へり(釜山特電)

●總督將軍見送

長谷川總督は武官、副官、秘書官、通譯官等を隨へ十五日午前八時十五分官邸出發自動車を驅つて龍山驛に赴き秋山大將並に白水中將の赴任を送れり

●飼育種馬調査

勸業模範場所管の牧馬場に於ては滿洲及び內蒙古方面より優良種馬を購入の計劃あり總督府にては之が調査研究の爲め農務課勤務野口次郎三技師をして同地に出張せしむること〻なり十五日附其の出張命令を發せり氏は兩三日內に出發の筈なり

●地査委員會 高等土地調查委員會第五部會は十六日午前九時より總督府第一會議室に開催土地查定不服申請に關する件に就き審議の筈

●建物整理委員會 京城府私設物整理委員會は十五日午前九時より總督府第二會議室に於て例月開催、宇佐美內務部長官以下委員出席し研究協議の上正午散會したり

●平壤の兵器製造所 停車場前の軍用地四十萬坪に新設…總工費は四百萬圓…大正七年度末に竣成

平壤に新設せらるべき陸軍の兵器製造所は近く愈々公表の運びとなりたるが今最も信すべき筋に付き確聞する所によれば製造所の名稱は東京砲兵工廠平壤兵器製造所とすべく其の位置は既報の如く平壤停車場前に於ける

▲廣袤八十萬坪 に及ぶ軍用地の半ばを割き乃ち約四十萬坪に設營せらるゝ事に確定し居れり而して其新營費は約四百萬圓の豫算にて大正六七兩年度に完成せしむる事となり居り大正六年度に屬するものは二百萬圓なるが特別議會に豫算の通過後陸軍省に於ける諸種の手續き準備等に意外の長時日を要せしため早くも西鮮の季節は秋に入らんとし居るに付結氷期の關係上或は本年內に於て二百萬圓の工事は完成し難からんとの疑ひもあれど新設の大部は直營にて之れをなし其の請負に附すべき部分は意外に少なかるべき事並に本年の計畫は多く基礎工事及び諸機械類に投ずるものゝ由に付工事着手後全力を擧げて其の進捗を圖らば計畫中の大部分は素より之れを遂行し得られん又其の建設には特種の構造を要するに付朝鮮駐劄軍經理部は之れに關與せず

▲東京砲兵工廠 より相當部員の來鮮を見る事となり居れり唯軍用地其の他の關係より軍司令部の主計數名は兼任東京砲兵工廠附として若干其の新營に與かるべし近らに其の新設前記の如く大正七年度を以て完成し大正八年より作業を開始すべきが其の組織內容は平時に於て駐滿駐屯軍隊の兵器修理を主とすべきも若し一朝有事の際は兵器彈藥の製造其他をなし得る設備を加へ能ふ丈けの基礎は當初より据ゑ置く事となり居れり

●司令官邸告別挨拶 軍司令官秋山大將は十五日午前八時四十分龍山驛發赴任に付同日午前七時五十分より官邸にて軍司令部及び師團所屬上長官以上の告別挨拶を受けたり

●兩將出發

新任軍事參議官秋山好古大將下の關要塞司令官白水淡中將は十五日午前八時四十二分龍山驛發列車にて大將は東京へ中將は下の關に赴任の途に就きたるが驛前の大通りには宮原步兵少佐の指揮する步兵第七十八聯隊の二個中隊朝鮮步兵隊一個中隊及び軍司令部構內よりは野砲兵中隊の堵列し發する十九發の禮砲轟ろき秋山大將の馬車は中村騎兵大尉の指揮する騎兵一個小隊儀仗兵として前驅後衞したり尚ほ見送りは長谷川總督以下總督府及所屬官署の長、官、局長、課長其他商等官立花古海兩中將市川少將以下軍師團憲兵隊の將校朝鮮貴族外國領事銀行會社重役在鄕軍人新聞通信記者將校夫人其他の見送り盛にして無慮五百名以上と註されたり

▲將軍見送り 立花第十九師團長市川軍參謀長竹內高級副官野津大尉は兩將軍と同車其の出發を見送りたるが立花中將は成歡より引返し午後二時四十分市川竹內兩氏は夕刻何れも歸京野津副官は東京迄赴けり

●松川中將著期 新軍司令官松川敏胤中將は東京にて秋山前司令官より事務引繼ぎを受け二十二日出發途中一泊二十五日午前八時四十分龍山驛著入京の事に變更されし旨或る向に通知ありたり

●へ少將來鮮期 天津米國駐屯軍司令官ヘイル少將は今回滿鮮に觀光を兼ね來る十九日天津出發奉天安東縣長崎を經て踏査する事となりたるが京城入京は廿二三日頃なるべしと

●松井中佐出發 軍司令部高級參謀より山形步兵聯隊附に轉せし松井中佐は十五日午後八時龍山發列車にて出發赴任す

●土倉少佐等著任 龍山步兵第七十八聯隊附に轉補せし步兵少佐土倉三男吉氏龍山陸軍兵器支廠附となれる工兵大尉横倉房五郎氏は十五日著任軍司令部に出頭申告せり

●理事長來京期 滿鐵理事長國澤新兵衞氏は同社臨時株主總會並に各種の要件を帶び十五日夜大連出發十七日午前八時南大門驛著入京長谷川總督山縣政務總監其他を訪問の上同夜出發上京の豫定なり

●渡邊博士來鮮 京都帝國大學教授工學博士渡邊俊雄氏は總督府保留金山の鑛物に付き調査資料蒐集並に鑛業調査の爲め總督府と事務打合せの要務を帶び不日來鮮すべし

統營より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇統營は三十年前迄三道統制使衙門の所在地にて候。統制使と云へば草木も靡く許り威勢堂々たる者に候ひき今や日本も韓土も一家となりて、李忠武公が畢生の精力を盡して設けし海防も、單に遊子の詩情を唆る舊蹟となりしぞ是非もなき。殺氣盈れし統制使營も今や平和の郡廳の所在地となる、千秋に變らざる青山と滄波とのみ昔日の俤を止む。

◇朝鮮半島の最南端にして人口二萬餘、朝鮮に於いては大都會なり、漁業は其の主要なる產業にして、鯖の取引平均一日五千圓一箇月十五萬圓と注せらる、埠頭を步けば白紙袋に入れたる枕の如き鯖の山を見るべし此の鯖は下關門司方面に移出さるゝ由にて候。慶尙南道の海は寒流暖流の入り込める處にして漁產無盡藏、就中統營は漁業の首府とも申すべく候。

◇朝鮮人側の產業としては、古來有名なる螺鈿漆器にして、近年道立の工業傳習所成り益々其れが改良發達を圖る、其の製品は京城方面の市場にも現はるゝ由なるが、實に精巧を極しものにして、世界何れの市場に出すも恥からざる如く思はれ候。漸次西洋向きのものも造る由なれば、大戰終了後は朝鮮獨特の產物として世界に持囃さるゝやも知れず、但しおそらくは未だ大資本家が大規模なる工場を立つるもの無之事にて候。

◇人口二萬以上の大都會にてありながら、未だ水道の設なく市中の井水は鹹味ありて飲料に適せざれば、車やチゲにて遠方より飲料水を運搬す郡當局に訊けば水道は年來の懸案なるも適當なる水源地なく、現に森林を造りて水源を養成しつゝありと申候。

◇今年は偶な天氣續きにて鰯成金多く、爲に統營は上々景氣、此の機會を利用して水道及び市區改正問題を解決せんとすとは、寺澤庶務主任の言にて候。元來統營は數多の山の織りなる、到底市全景を一眸に收むることは不可能なれば、市區改正は實に難中の至難なるべく、水道工事も頗る困難なるべしと存ぜられ候。

◇市の公園たる南望山の前方に財島なる榮山そつくりの島あり、其の名空しからずして全島悉く黃金よりなれりと聞く、現に藤田組の据せる鑛山にして、鑛脈遠く海中に亙り、已に水面下二百尺以上に及べりと云ふ。何卒其の鑛脈の長かれとは、統營全市民の希望にて候。

◇加藤署長の談によれば、當地の日本人は未だ殖民地の氣風抜けず、如何にも浮氣にして深慮遠謀なく困つたものなる由にて候。朝鮮人の一向振はざるは例によつて例の如し、一寸した財產家の小供も美衣美食にて何か面白き事なきやと町の中をうろつき廻はる、何更困つたものなりと云ふも快活なる署長の談にて候。

◇前に湖の如く波平かなる海ある、四面山と島とに圍まれて涼風に乏しきは大缺點なり。南望山の麓に海水浴場の設備ありと云へども、要するに避暑地として適當なりとは云はれざるべく、冬季の氣候至つて溫和なる由なれば、避寒地としては上乘なるべし、而かも其も水道の設ありて後の事、未だ水道の設なきは統營人士の大なる恥と申さゞるべからず。

◇統營は李舜臣の遺蹟にして、壬辰の役の激戰地なり、綠なす一波一波も、當時の勇士の魂魄を止めざるなく、丘上の一草一木も當時の慘劇を語らざるなし、閑山島の斜陽、忠烈祠の竹林は遊子の筇を惹くに十分なるべくと存候。明朝は當地の名勝舊蹟を探るべし、友僚にあり之にて失禮致候(八月三日夜)

●牧野博士訪問 法學博士牧野英一氏は十五日午前總督府に長谷川總督山縣政務總監以下各部長官等を歷訪し入京の挨拶を爲せり

●志賀氏入京期 過般元山に向ひたる早大講師志賀重昂氏は十七日午後五時十分南大門に歸著すべく同時に早大並に札幌大學出身の有志は氏をアミリーホテルに招待して晩餐を共にする筈因みに朝刊に十五日入京すとありしは十七日の誤植に付訂正す

●奧田代議士內地へ 入京中なりし代議士奧田龜藏氏は十四日南大門驛發夜行列車にて內地に向へり

●原田社長東上 朝郵社長原田金之祐氏は日本郵船取締役會列席のため十四日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上せり

●川上理事東上 東拓理事川上常郞氏は同社臨時株主總會に列席及び重要社務を帶び十四日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上せり

●関長官往十里行 関李王職長官は京元線列車にて十五日朝往十里に赴きたり

●千葉視察團入京 千葉縣教育會主催の教育視察團一行は十五日朝入京金旅館に少憩の上午前は南山公園、商品陳列所、普通學校、工業專門學校等を見午後は總督府博物館、動物園、パゴダ公園等を巡覽の後五時より西大門倶樂部に於て朝鮮の教育に關する講演を聽けり十六日は美術品製作所、慈惠醫院、中學校、善隣商業學校等を參觀し午後三時より朝鮮ホテルに於ける同縣人懇話會に出席す可く十七日午前八時五十三分南大門驛發列車にて仁川に向ふ豫定なり

●高橋少將張宴 總督附武官高橋少將は十八日午後七時より朝鮮ホテルに公私の知友七十餘名を招待し盛なる披露宴を開く當日は總督府側よりは政務總監以下各部長官、々房各局課長、武官、副官、秘書官、所屬官署の長並に重要職員軍よりは幕僚、師團長及び其の幕僚等出席す可し

●滿鐵線徒步連絡 南滿鐵道の本線水害箇所鐵嶺、平頂堡間、開原金溝子間、蔡家大窪間各四箇所、○線乃至一哩は十四日より徒步連絡を開始せしが其の全通見込は不明也

●澁谷一部長出張 澁谷第一部長は廣川地方畜產組合發會式參列の爲め十二日午後宋島水害の爲め定期時間に後れたる九時半の北行列車に搭じて出發來る十九日頃歸任の筈([illegible])

【清津】▲間島本年豊作 間島本年の農作は播種以來天候先づ順調にして麥の穩孕期に雨水に事缺きたるを以て平作に及ばざるも粟、玉蜀黍の類は順當に發育し殊に高粱は七月に入りて降雨多きに一層生育良好なり蔬菜類は土用入後の旱天に兎角旱害の發ありしも之れ亦本月の降雨にて大に作況を恢復せり要するに今後障害なき限り本年間島の農作は近年になき豊況なるべき豫想なり▲野砲兵射擊演習 羅南野砲兵第二十五聯隊にては暑中實彈射擊演習の爲め九日より九月一日迄會寧山城山なる射擊場に於て射擊演習を行ふべく九日羅南兵營を出發炎天を侵して會寧に向へり▲庶務主任會議 咸北道廳にては本月四日より府郡庶務主任會同を鏡城に開始九日閉會せるが今回の會同は主として面制實施、大豆檢查實施、物產品評會開催に關する件等なりし▲軍用馬糧乾草 富寧郡會寧郡沿岸地方に亙り例年採取する羅南軍用馬糧乾草は本年も約廿五萬貫を羅南倉庫直營にて採集する事となり本月に入りてより同倉庫係員は現場に出張し地方民を督勵して採集に著手せるが之が爲め同地方にては年々農閑期に二萬圓內外の採集散布さるゝ事とて一般好景氣なり▲罌粟密作 茂山郡山間地方にては部落民對岸間島より支鮮人の山中に於て罌粟を密耕し阿片煙を採取して奇利を占むるもの多きを以て兩三年來其取締を嚴重にし檢擧に努めたる結果漸次減少せるも尙其跡を斷たず本年も旣に開花期に入れるより密耕者は山中に於て阿片煙採取に著手せるより憲兵隊にては極力之が檢擧に努めつゝあるが旣に二三の檢擧を見たり

【全州】▲全北倉庫建設 全州農工銀行にては地方發展の趨勢に鑑み曩には二支店の增設を敢行し專ら金融の圓滑を圖り農工商業者に貢ふ所深かりしが今又た裡里停車場附近の地を相し一大倉庫を建設すること〻なり目下其の筋へ向け稟請中にして認可あり次第直ちに工を起し秋收期までには竣成を告げる豫定にて豐年滿作の聲ある本年より北海產米穀の一半を收めんとの目論見なるが本計畫は豫てより期待せる理想の實現と云ひ其の規模も頗る宏大なるが如くにして本年建設すべき一棟は其の第一步と見るを得べく從つて其の容積百坪を有し次年度には更らに之れに優る第二倉庫建設の筈▲全北喜雨と被害 水問題が地方邑里の到る所に勃發せぬ計なりし昨の旱天も驟雨一過忽ち失せ去り農家の喜び云はん方なき折りも折、去る十一日より十二日に掛けての土砂降りの豪雨には各地に尠なからぬ惨害を與へ茂朱郡に在りては床上床下の浸水、任實郡は溺死者一名を出し鎭安郡內にては家屋三十餘戶の流失を見其他長水淳昌郡內の如きは一時交通杜絕道路の缺潰、橋梁の破損、田畑の被害尠なからずとの情報なるが豐穣に賑せる昨今喜憂交々到る光景なり▲全州署道場上棟 頭來新築中の全州警察署構內道場は忠の外工事進捗し去る十三日上棟式を上げたり▲中島警務部長歸省 昨今の休暇を利用し墓參の爲め鄕里宮崎縣へ向け去る十三日全州を發せり

□安東縣より 十四日 結城蓄堂

昨十三日、塚本醫院長其他有志者十數名の招待を蒙り、公會堂に於て講演後、晚餐の饗應を受け申候。十五日平壤に赴き兩地の山水を尋ね、十七日京城に入る可く候。

釣魚臺

青山突兀水潺潺。削壁懸崖畫圖間。兩岸蓼花紅欲滴。夕陽秋冷釣魚臺。

高麗門

高麗門對鳳凰山。老樹鳴蟬畫掩關。千古重關今不戍。牛羊唯帶夕陽還。

人事消息

▲牧野英一氏(法學博士) 十五日朝入京朝鮮ホテルへ
▲大田與吉氏([illegible]) 同上
▲千葉縣教育視察團一行二十七名 十四日夜入京金旅館へ
▲香椎源太郎氏(釜山水產業) 十五日朝退京
▲向坂幾三郞氏(水原模範場技師) 十五日午後退京
▲森川寅三郞氏(平北道長官) 十五日夜退京の豫定
▲小河原義照氏(視學官) 十五日附黃州に出張を命ぜらる
▲三井榮長氏(農務技師) 同日附平安南北道へ
▲田尻生五氏(咸北事務官) 十四日夜入京
▲湯淺凡平氏([illegible]) 十五日入京不知火旅館へ
▲英國副領事 十五日朝元山へ

浴後に

○歐洲外交界には、近時素破抜流行す、ゼラード氏の備忘錄發表はカイゼルを啞然たらしめ。タケ、ヨネスコ氏の素破抜はリヒノヴスキー公を嚇かす。何れも隱れたる獨逸の惡事證明也。最早戰責轉嫁も駄目。

○由來日本人は小男を以て恥づ、然るに歐洲大戰の結果は、體格の小なる兵士は、却て優秀の戰鬪力を有する事を發見さる。英のバンタム矮少聯隊の戰功振群亦其證明の一也。吾邦人の短小寧ろ誇るに足るべし矣。

○フランダースの砲戰激烈也。英軍勝たば獨軍は全然海上より追ひ詰めらるべく、而して航空隊の援護にて獨逸產業の中心地根絕さるべしとて獨紙大に悲觀す。而も英軍の形勢可慶。

長白山彙を跋渉して(三)

▽サテは馬賊の御入來かと…△

◇山の中の一軒家◇燧人氏の孫◇花房草の御花畑◇

白頭山麓の大深林に危く仙人と化けさうになつたわたくしは、二三日の後ヒヨツコリと兎のつくつたやうな山徑に下りて來た。だん／＼進むで行く間に不圖路傍の石に

◆火を焚いた あとを見た時急に浦島が人間界に戻つて來たやうな氣分になつた。水は悉く南へ向つて流れ末は圖們、鴨綠の大河となるべき清流である。見渡すやうな野原にも出た。就中最もうれしかつたのは後の金剛山で發見された世界的の名聲を得た『花房草』の原であつた。また此のあたりは日本アルプスに見る

◆お花畑の類 が澤山である其の多方わたしは路傍に樹の根の伐採されたあとを見た。私は曾て北海道の深林も見たとがあるが此處のは遙かに木質が密で立派なものであつた。モウ人家も遠くはあるまいと思ふと同時に私は此の邊一帶(總じて鴨綠江の右岸)が馬賊の巣窟であるとに思ひ至つた。現に一昨年も京城の土地調査局の人々が帽兒山下で

◆馬賊の人質に 捕はれたるを思ひ出した。しかしながら私は別に恐ろしくもなんともなかつた。凡そ此詰襟服一枚の山右衛門を捕へたとて馬賊君にとつては徒勞である。世の中に赤裸一貫の男ほど強いものがまたあらうかと山の中だけに大事樂であつた。その間に總てものが見えて蒼い林の中に不圖眞白い煙が見わた。サテは馬賊の御入來かとだん／＼其の方に進むで見ると其處には一軒の

◆人間の家が あつた。家と云つても諸君は壘や棟のある家と思つては困る。それは方丈記の文句ではないが木の丸殿もかくやとばかりやない。壁といふのが丸太を橫たへた木の壁で(これはカチユーシャ可愛や、西比利亞の露助君もやつて居る)屋根の瓦といふのが三四尺ばかりの丸太を二つに割つたもので葺いてある。此の掛合山右衛門にしても草臥れて居る。これまで遙々

◆白頭山三界 をウロツキ廻つて折角旅の衣は鈴かけノウ……さ來なのであるから、俄はたゝく月下の門『頼まう／＼』には『ヨボ』か『何ヤ』かどつちにしたものかと思ふと木の丸殿からは『ヌグヨ!!』(誰れか)とおいでなすつた。確かに親愛なるサラミ君である。『チヨツコン／＼!!』で温突に賑を卸すと久しぶりに人間になつた氣持がした。日はとつぷり暮れて來た。家の裡なるは

◆燧人氏の孫 とも思はれる親父である。親父は火を焚きつける時にはカチ／＼と火打石を打つた。親父は燧火などは無論用ゐぬといふ。夜が明けたら起きるといふ。成程、天の攝理に適つたやり方である。今に灯燈で夜を更して居る連中も、早晩迷ひの夢が覺め來つて、此の白頭山の親父の卓に心服する時が來るであらう……。眠いから早速こちらもゴロリ燧人氏の曾孫となる(山右衛門)

秋山白水兩將軍 龍山出發の光景

盛なる見送りを受けて秋山白水兩將軍の出發

秋山大將白水中將の出發する十五日の朝龍山驛には各方面の人が續々と集まつた、停車場に通ずる大陽館前の大通りには宮原步兵少佐の指揮する步兵第七十八聯隊の二個中隊及び朝鮮步兵隊の一個中隊が午前八時少し過ぎまでに

◘整然と堵列 し、軍司令部の構內から砲兵中隊の打出す禮砲が時々轟ろく堵列兵の前を通つて馬車が行く、人車が行く、自動車が行く、徒步の人々は多く電車を下りて廣い驛前の空地を停車場に揺切る、八時二十五分白水新中將の乘つた馬車が驛に乘りつける、八時三十分

◘馬蹄の音 が聞ねたと思ふと順路を疾驅して來た中村騎兵大尉の指揮する騎兵一個少隊の儀仗兵に前後を護衞された馬車は、秋山大將と野津副官が同乘してゐる、劉喨たる喇叭の音が起る、諸列兵が氣を付けの姿勢をとる大將は終始擧手にて答禮してゐた

◘大將の馬車 が過ぎると長谷川總督は釜屋武官と自動車に同乘して見送りにやつて來た、此の前後プラツトホームに於ける見送りの雜沓は大したもので近來にない盛況を呈した、定刻前列車が著くと貴賓室に少憩してゐた

◘長谷川總督 秋山大將其他は岸驛長の先導で出で來り秋山白水兩將軍は見送りの立花市川將軍等と特別列車に搭乘八時四十二分發車したり

救護中濁流に浚はる

田村漣川郡書記溺死詳報

十一日の洪水にて京畿道漣川郡書記田村錢太郎氏が溺死せしことは既報せしが當時の狀況を聞くに田村書記及び同廳森川郡書記の兩氏は何れも川に沿ひたる場所にて同夜午前四時頃同氏は居宅より稍離れたる邑內所在の郵便局に赴き出水狀況を關係官廳に打電し其歸途濁流氾濫の現場に出動したる郡廳雇員憲兵、遣所員、消防手等と共に浸水家屋の救護中田村書記は危險に瀕したる洪浮の方に家人を救護せる際俄然同家が倒壞して押流されたるものにて折柄暗夜と豪雨との爲め施すべき術もなく其の後漸次減水したる後搜索の結果數町下流なる農家の裏手にて屍體を發見したりと

白晝強盜 留守人を絞殺して金庫を破壞せんとす

十四日の白晝午後三時三十分大阪谷町五丁目三十九番地川島伊三郎方へ二名の強盜押入り裏接中の伊三郎妻つる(五三)を絞殺して同家の金庫を破壞せんとする所へ近所の少女が同家へ來りし物音に驚いて逃走した伊三郎は伊勢へ旅行中なりと(大阪特電)

雷管卅三萬發竊取さる

大阪北久太郎町火藥商原林之助所有の雷管三十三萬發は何者にか盜取されたり(大阪特電)

平北猛獸被害

平安北道管內に於ける最近までの猛獸被害狀況を聞くに左の如し

▲七月三十日午後一時頃楚山郡古面中水洞居住一使は同地甲里谷に於て熊一頭を捕獲せり

▲七月十五日午後十二時頃寧邊郡泗面王月洞[illegible]方にては自宅[illegible]飼養中の小豚二頭狼の爲めに咬殺さる

▲七月二十日午前十時頃渭源郡鳳山面陽地洞李永宗姪李[illegible](五つ)金[illegible]三男金應範(三つ)の兩名は其の軒の兄應九(八つ)と共に洞內水車小屋附近に遊戲中一頭の豺現はれ兩人の橫腹に咬み付き更に轉じて應範に咬み付きて同人を拉去したるを以て兄の應九は驚きつゝ大聲を發して[illegible]る爲め現場を去る約六十間の地點に應範を放棄し逃走したり二名共重傷を以て直に[illegible]慈惠醫院に入院加療中なるも生命危篤なり

▲七月二十四日午後一時頃[illegible]郡少林面[illegible]

山崩れ 二十七名行衞不明

流失家屋夥しき南鮮の大洪水

本月十一日以來の豪雨のため南鮮地方に大洪水の被害ありたることは既電の如くなるが其の後漸次減水して交通開始すると共に各地方に於ける調査の結果判明したる被害狀況を知るを得たり

▲罹災二千五百

忠南大田にては十一日午後二時より大雨の爲め罹災民五百名に達せり其の救護として市民より金七十圓白米一石七斗一車酒二升を寄贈せり同浸水部落に對して天候の恢復を待ち大清潔法を施行する豫定なりと同じく公州は十二日午前二時頃錦江の増水二十四尺餘に達し對岸との交通は渡船を用ひ公州鳥致院間の自動車は對岸に一泊を留置き運轉連絡を探れり其の他大なる被害なかるべし

▲浸水四百戶

全北にては既報の外茂朱郡邑內に於て河水汎濫の爲め浸水家屋約四百戶溺死一名を出せり又長水郡長水地方に於ては長水川約十尺の增水にて該流域に沿へる家屋は多くは浸水し三戶は流失せり

▲蟾津江增水の爲め全南との交通杜絶

河東方面に於ては蟾津江增水二十尺に達し低地一帶浸水全南方面との交通一時杜絶せり人畜被害なき見込なり次に陝川に於ては附近河川の增水甚だしく郡參事の門前四尺廳舍床上一尺浸水し一時留置人を他に避難せしめたる上署員は專ら他の警戒救護に從事したる外書類簿冊の幾分を浸水せしめたりと咸昌安東醴泉成陽等[illegible]及歡[illegible]陝川[illegible]の電柱數個倒れたる爲一時通信不能となりしも十三日午前八時より全部開通せり以上の外何ほど被害ある見込にて引續き調査中也と

▲悲慘なる光景

家諸共に漂流

慶北にては既報の外何ほど遉回の洪水にて少からざる被害を蒙りたる慶南居昌にては既報の外何ほど邑內附近に於て流失家屋六十餘戶半潰及び浸水家屋百餘戶に達し居れり又同郡渭川面南山里に於ては山崩れの爲め鮮人二十七名行衞不明となりて居るを發見し居昌邑內にて同じく六名行衞不明となれり罹災部落民に對しては憲兵分隊郡廳と協議の上炊出しをなし救護をなせり而して前記居昌邑內洪水の際十一日午後二時頃居昌川增水十五尺に達し邑內殆ど全部浸水し一部流失するに至り同地憲兵分隊勤務憲兵伍長池田久雄氏は居昌郡守李璞永氏は憲兵消防手等を指揮して全泉洞の罹災者救護に從事中沛田伍長及び消防小頭の兩人は家と共に[illegible]

▲女強盜の判決

全南羅州郡鳳凰面鳥林里趙日率(二八)同妻金可莫禮(二七)兄趙道永(三〇)の三人が共謀して同郡五垈面金中任方を手始めに十數軒に押入り強盜を働らきたる事件は光州地方法院にて審理中趙日率は懲役十二年に金可莫禮は同十年に處せられたるが同女は十年と聞くや取り止めもなく泣き出して看守を手古摺らしたりと

▲吐瀉から大騷ぎ

京城鍾路六丁目二十五番地金明秀妻郭姓女(□□)は十二日夕刻激しき吐瀉と下痢とを催し虎列拉の症狀に似居るより大騷ぎをなし鍾路署より高橋警察醫出張檢診し念の爲め採便して衛生試驗室に送り檢鏡の結果菌を發見せず急性腸加答兒なりしと

▲七月二十五日午後[illegible]郡[illegible]面[illegible]咬殺さる

▲七月二十四日午前十一時頃[illegible]の爲め咬殺さる

灯とし頃

▲十四日の晚京城郵便局の前では日蓮宗の辻說法があつた▲坊さんは僧衣の袖に南無妙法蓮華經の旗を押し樹てつゝ日蓮主義の宣傳に獅子吼して居た▲これからは毎夜偶數の日に限り方々でやるさうだが二人とも非常な雄辯家であつた▲內地行き朝鮮人の勞働者は勞銀騰貴の今日內地到るところで歡迎されて居る▲日給は普通七八十錢から一圓まで▲仕事になれたら非常によからうといふ事である▲沃川の水害避難民に蓮池洞の片さんが廿圓寄贈した近來鮮人間に此の種の奇篤家の多くなつたのは面白い現象である▲このごろの鑛山熱は相變らず百度以上で例の俳人の魚骨君までが黑鉛鑛を掘り出したから面白い▲お蔭で今年は京城唯一の牽牛花の逸品が見られぬが魚骨君はこのごろ鑛山に入りながら『今に俺れが成金になるぞ』と掘られぬ前から威張つて居るさうな

◎支那無賴漢追放

過般の北京騷擾事件以來支那人中の無賴の徒及び同居者なる同鄉人張少連(二九)に至り原籍山東省濟南府濰縣當時小僞子南泰公街廿五番地無職牟仁忱(二[illegible])は愚民より金を卷上げ日夜流連荒淫を事としゐたる者なるが何幾分の同類者ある模樣にて愚昧なる支那人中在[illegible]

九時釜山入港高麗丸 一二等客

一等(二名)木村林次郎 二等(五十一名)岩崎旗太郎、同惠子、同萬[illegible]、[illegible]郎、同將子、大庭[illegible]、安氏みつ、中野[illegible]、小山[illegible]、竹田[illegible]

十四日午後五時十五分釜山入港さくら丸 一二等客

一等(十名)寺尾[illegible]、山崎[illegible]郎、同[illegible]、小[illegible]、[illegible]

課題募集規定

△一口[illegible]

募集規程 ▲用紙は端書又は四形の洋紙一枚毎に式上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の異る每に用紙を別にし一種二句以內の事

天氣 曇り後晴れ

(十五日午後六時) (八月十六日)

仁川 [illegible]

商況

債券現物特電

(十五日前場)

東京債券[illegible]	一四九、一〇

公債直取引

五分利	九六、八〇
四分利	八一、六〇

東京期米特電

(十五日前場)

八月限	二三、五五
	二三、四五
	二三、一五
	二三、四五
	二三、五五
	二三、六五

大阪三品特電

(十五日前場)

大阪期米特電

八月限	二四、一五
九月限	二四、〇〇
十月限	二三、九五
十一月限	二三、七五
十二月限	二三、五五
一月限	二三、六五

下關期米特電

(十五日前場)

	二二、四〇
	二二、九五
	二二、九六

雜報

◎綿糸布續て不勢

低落 七十五圓 綿糸龍レー現物十二圓三十錢 先物十二圓六十錢

◎大連大豆立會

新甫五圓七十三錢 百三十五圓五十錢

◎南鮮大豆走り

◎經過良好 產額二萬石見當

◎滿洲粟の近況 在荷次第に停滯

◎産地氣配硬化の期待 奧地に逆況

京城正米

京城雜穀

◎粉米不活潑

下關相場 四十錢見當

◎鹽釗と石炭酸高 景氣恢復 海外輸出行はる

◎肥料康寧騰 市中値は百五六圓處

◎牛皮移買萌す

注文急激に增加 需要を促進 上物一圓二四十錢 見當

南大門の廻穀

釜山穀物(十四日)

生魚市場

仁川期米

十五日前場

大阪天候小雨 前寄二十二圓九十六錢と昨止より七錢安の入電 先十九圓二十九錢と一錢安 寄付に押依然保合 保合下違る

市場零聞

ナ 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長九三番

▲變動期近し 活氣を帶ぶ

▲期近強硬 先限も稍買氣を刺戟 期近の強硬に連れて 共に買ひ手仕舞

▲順氣と米價

十九圓は將に高きか安き 假に平作としての米價 依て高低を決する作柄如何

仁川米豆取引所 十五日の十月限

前場 寄付 十九圓二十九錢

青物だより

迅速 確實 マ 廣瀨正太郎

…しめ其間に乘じて金錢を詐取せんとし其屆地へ逆送せしめたり右名…謀りつゝあるより其筋にては彼等の…は七月一日來連して市内の不正分子…行動を嚴重に監視し居りしが十日に…と往來し且つ天下國家を云爲しつゝ…等無頼の徒を撲滅すべく更に嚴重に…監視すべしと（大連）

◎連絡船上陸客　十四日午前

引地みよ、正平…同…、田…長…、同米子…市…、根…安宅…佐…、井川…、五郎…石…、三…

◉戰慄せる露國上流
兵士も勞働者も知識階級に挑戰

波羅的艦隊の一水雷艇長たりし露國海軍大尉は這次賜暇を得て保養す可く浦鹽に來りたるが右大尉より頗る痛快なる談話を聞得たり曰く

▲自由の叫び　クロンシュタットにては海軍の一將校は部下の爲めに生き乍ら手をもがれ、足を折られ四肢をば悉く身體より取去られて殘虐の死を遂げたる者あり更に水兵はこの樣な者があるから我等の自由は得られぬなりと云ひて將校を死屍に浴せ居たり今度の革命は露西亞知識階級に對する挑戰にして兵士も勞働者も知識階級の全滅を企圖し居れるが如し

▲金時計の只取り　又露都にては或紳士に向つて『今何時ですか』と訊ぬる故件の紳士は丁寧に懐中より時計を取出して時間を告げたるに男更らに『其時計は立派なり一寸見せて呉れ』といふ紳士は何心なく之を手渡ししたるに男又云ふ『これは金時計らしい、私のニッケル時計と交換してやらう』紳士は惘れ乍ら『無茶をいふものではない、此時計は秘藏の上物で何人にも與へられない』と男累ねていふ『こんな贅澤な時計をば今日が日まで持つて居たのだから、それで澤山だらう、私が貰つたからとて何も文句はあるまい』と斯くの如くにして金時計を奪はれて仕舞つた、併しこんなのは一人や二人ではない、露都にはザラにある

▲綺麗な貸家も　只『貸間あり』と貼札を出して居ると借り度いと云つて見に來る、部屋は勿論綺麗で餘程の收入ある者ならでは住み切れないほどの貸間料である、見に來た夫婦者直ちにお氣に召したと見ねて、明日ともいはず、今日只今移つて來るから宜敷頼むといふ調子、早速の轉宅、家主も何だか少々變だワイと氣が附いて貸間料を請求に及ぶと、ナア貸なんか請求しなくつても可いぢやないか見ればお前の家は澤山の家屋を所有してゐるらしい、第一こんなに立派な家に今日まで住んで居つたといふ事は、非常の贅澤だ、今日まで住んで居たといふことで十分ぢやないか……と云ひ託をお並べ遊ばさる、畢竟共産主義の理屈をこね出すのだ家主も持て餘して『出て往け』と迫るがうして出るものか、悶々しく構へ込んで半年も一年も家賃無しで通り抜けんとの魂膽こんなのも露都には數へ切れない程ある、知識階級有産階級は恐ろしくて死でも晏閑と住んで居られたものではない（新聞）

◉勤續店員表彰
未だ具體的に決定せず

仁川商業會議所にては過般開かれたる評議員會に於て店員の勤續の美風を發成せんが爲め勤續店員表彰をなす事に決し目下會議所に於ては各地商業會議所の規定及び方法等を參酌して表彰規定を作成せんとし目下照會中なるを以て未だ表彰すべき勤續年限を五年になす可きか將た十年以上となす可きかさへ決定せず表彰式舉行期さへも判明せざる由尤も各地商業會議所にては其の事業として表彰規定を設くる者無く多くは同業組合の表彰式搗に會議所を充つるに過ぎざる程度の者なれば會議所が果して主體となりて表彰するや否やさへ不明ならんと（仁川）

◉商專生徒滿洲旅行　仁川

商業專修學校第三學年生徒約十七名は多賀教諭岡部囑託引率の下に來る八月卅一日より九月十二日迄滿洲方面へ旅行する事となりたるが其の日程は三十一日江原丸にて仁川發九月一日芝罘著二日大連著四日旅順の戰蹟訪問の後六日蘇家屯を經て撫順著更らに奉天長春に至り十二日午前十時担蜆著の豫定なりと

◉狂言泉友會試演

京城に於ける中樂狂言に趣味ある諸氏相謀りて、先般來泉友會を組織し、姫路市の泉流狂言大家鈴木助一氏を聘して研究中なりしが、來る十六日午後正六時より、旭町一丁目白水の大廣間に舞臺を造り試演會を催す由、斯道に熱心ある人は參觀隨意なる由にて、京城に於ける始めての會なれば此れは定めて盛會なるべく、其プログラムは左の如し

一、翁渡し（天本、土田）二、鶴水鬼（大西、鈴木）三、角設法（大日方、大西）四、鼠稽（塩谷、石生、野々村）▲中入、小舞　一、高の夢（工藤）二、七つ子（中）三、宇治の晒（天本）四、京（…）五、合邦（石生、工藤、野々村）六、…（天本）七、不須（森川、野々村、原）八、釉由伏（工藤、石生）

國演藝雜記帳

寄席の海老一はその餘り技巧を用ひない淡さりしたところが夏芝居として一般の嗜好に投じたせいかそれともチッポロビールの後援によるのか兎に角初日以來素敵に入りがあるが▲一座が初日に出した京城での當り狂言ともいふべき『武士茶屋』が面白いから最う一度出せといふ註文が多いので十六日の晩に再び出すさうである▲武士茶屋は落語の花見の仇討を改作したやうなものだが、それとは亦大分變つた趣きがある▲大體の筋は敵を尋ぬる侍と敵の侍とが花見の場所で偶然逢ふ深編笠の下から覗き合つた兩人がそれと知つてブッと恐く一人が刀の柄に手を掛けた時には敵は逃足早く消ねて終ふ▲チェー殘念で上手を見込む所へ茶店の亭主が出る、それがその侍の國許の家に出入した町人であつたので斯樣な事情を明し▲敵を探す妙策を考へたとて亭主に侍の風をさせ自分は亭主の姿に成つて敵の來るのを待つ所へやつて來たのが芝居狂の若旦那後から跟いて來た若い者を相手に芝居の眞似をする可笑みあり▲ト亭主に化けてる侍が出になつてその侍が左樣然らばの侍言葉を使ふので此奴芝居氣があると若旦那大喜び、此處でも散々可笑みを見せて侍が這入ると▲先きの敵持ちが出て若旦那に『町人貴樣着物を貸せ』と脅かして自分の着物とそつくり替ねてしまう▲替られた方は侍になれて嬉しいと這入る、町人になりすました敵は之れなら氣付くまいと茶店に憩うて居たが忽ち見つけられて背を擧げられる▲其處へ若旦那の親が出て無樣に殺されるので吃驚く所へ若旦那が敵の姿で出て來る、茶店の亭主が再び敵と詰め寄るとそれが與きの芝居狂と知れて皆が二度吃驚といふので徹頭徹尾笑はせるのである

釋王寺へ（下）
秦　瞬星

▌鮮人青年の紀行▐

ヤガテ夕飯が運ばれる。實に不味い事には驚かざるを得なかつた。食後煙草をふかしながら寺内を散歩する。六抱もある大きな樫の木の下には長椅子が据ゑられてあつて、そこには五六人の小僧が何かペチヤくと喋つてゐたのが、私がその前に往くと、見た事のない顔だなといつた風に妙らしそうに私を見詰める。私はその内の一人を捕へて色々聞いて見た。年は十四だそうだが中々賢い。九歳の時、兄に連れられて金剛山から京城を經て、今年こちらへ來たといふ。家族は幾人ゐるかと聞くと、父は去年死んで了つたし、家には四十一歳になる兄が年取つた母と兄弟を養つてゐるし、今年三十一歳になる二番目の兄は十一歳の時から坊主になつて、今こちらに一緒にゐるといふ話。それでは家に歸りたくはないか母樣に御目に掛りたくはないかと聞いた。左程にも思ひませんがたゞ父がなくなられたといふ事を聞いた時には隨分悲しく思ひましたと。何うだ？寺の生活は面白いか、また佛樣の御慈悲を少しは感じたかと尋ねると、先生眞面目になつて、それは寺の中に學校があつて大勢小供等と一緒に勉強をしたり、遊んだりするから隨分面白う御座います。しかしまだ佛樣の事はよく知りません。毎日佛樣に御叩拜はするけれども、ちつとも佛樣といふものは解りません。しかし祈禱といふものがあつて自分の希望する事、例へば偉い人になりたいとか、財産家になりたいといふ事を百日なり幾日なり佛樣に祈禱すると、夢に佛樣が現はれるといふけれども、私はまだ一度も祈禱をした事がないから佛樣が夢に現はれた事がありません。そんなら御前も一つ祈禱をして見たら好からう。また今御前が祈禱をするなら何ういふ事を願ふつもりかと聞くと、祈禱といふのは大人にならなければしないものだし、また自分の望みといふのは祈禱をする時その時になつて見なくては解らないと云つて笑つて云はない。

日はトップリと暮れて、谷の流れの音は幽かに鳴く夜蟬の聲と梢を通る風の音は、ある一つの大きな響になつて、物凄く鳴り響く。私は小僧等に別れを告げると、小僧等は一齊に椅子から起き上つて、小さな掌を合はせて『御休みなさいまし』と、御叩頭をする。室に歸つて來て床に入ると、熱が出て非常に苦しめられる。こんなことなら今朝發つんじやなかつたがと、自分の無謀を悔るけれども、後悔先きに立たずとやら、今更何うする事も出來ない。

※渚の砂※

■鎌で三人斬　熊本市外出町村鐵道工夫倉原末吉（三七）は八日夜酒の上から俗かの事で鋭利な草刈鎌で兒島留吉（四一）を慘殺し居合はせたる倉澤ちよ（四五）古閑字三郎（三九）の兩名にも重傷を負はせた

■大金に轢かる　横濱市下町大竹自動車商會の自動車に金貨二百萬圓を積み運轉手若池駒三（二二）が東京に向け神奈川縣川崎町を疾走中新潟縣生れの杉田房（一六）を轢き倒して重傷を負はせた

■母子の入水　愛媛縣北宇和郡二名村片山みちゐ（一九）は近所の本村森信（二二）と關係しゆき子（一つ）迄なした仲ながら平常の仕向けが添ひ遂げられぬを悲觀して無斷家出し母子相抱いて投身自殺を遂げた

◉千葉縣人懇話會

千葉縣人會にては同地教育視察團の入京を機とし十六日午後三時より朝鮮ホテルに於て懇話會を開催す可し

◉李會演藝會

花柳芳之助、六郷新十郎の補導にて十六日午後七時より有樂館に於て新參連中の李會演藝會を催すべくその番組は（一）清元花かたみ（二）常盤津松島（三）長唄鞍馬山（四）長唄志賀山三番叟（五）常盤津靱猿（六）長唄吉原雀（七）外記猿等なり

運動界
國庭球遠征團より
於大連　泉　政次郎

▲第一信　今朝は七時まで就寢せよとのマネージャーの命なりしに此人が一時頃ヤレ喜雨だ、旅程變更之より旅順見物、試合は明日に延期明日は皆かるぞ旅行の疲れは無くなるから味方の勝利疑ひなしと叫び、直に朝飯を急がせ七時五十分旅順行の汽車に乘る、今夜七時より大和ホテルにて歡迎會ある害（十二日午後）

▲第二信　十三日午前休憩、午後猛烈なる練習、コンクリートコートには心醉たる爲め意の如く當らず悲觀するものあり、明日は當るとて却つて樂觀するものあり、夕食後策戰の爲め鳩首凝議、漸く決したるは十一時五十分、オーダーは次の如し（十三日午後）

朝鮮側　1（河合泉）2（熊本松本）3（矢野永田）4（菊川）…
滿洲側　（米田若泉）（立花本田）（安富中井）（伊達）…（滿洲側オーダー不明）

日報曆（八月下半月）

◆十六日　日永の頂上は六月十六日より二十七日までにして晝間十四時間四十五分、夜間九時間十五分なりしが、八月十五日となりては日も追々つまり、日出朝五時四十八分、入午後七時二十七分、晝間約十三時間三十九分、夜間十時間二十一分となり更に十六日は夫れより二分、翌十七日は四分十八日は四分、十九日は九分といふ如く追々日が早く暮るゝなり。

◆十八日　朔（舊七月）午前三時二十一分

◆廿四日　古來『暑氣止む』と傳へられし處暑（午後二時三十分）廿六夜待

◆二十六日　上弦（午前四時八分）

◆二十九日　併合記念日

◆三十一日　天長節、和蘭皇帝ウヰルヘルミナ陛下誕辰日、三十一日は日も追々つまりて晝間十三時間四分夜間十時間五十六分となる。

台所

▲甘納豆の煮方　先づ材料として大豆五合、赤豌豆八分、紫豌豆三分、白糖七十五匁、蜜三匁、油二匁とを用意します、大豆は一晩水につけて置きます。翌朝よく洗ひ鍋に入れ水をたつぷり入れ蓋をして茹でます煮立ちたら水をさし、皺をのばします一度しわのばしたならば水を入れず柔かになる迄煮ます柔かになりましたならば豆がひたひたになる位に水を減らします、つまり二合程に致すのです其中へ砂糖七十五匁を入れて文火で煮込みます豆に砂糖が浸みて色がついて來ましたら醤油二匁を入れて暫く煮て飯杓子ですくひ上げて見て砂糖が飴の樣になりましたならば蜜三匁を入れてざつとかき混ぜ煮立ちましたならば直ぐ鍋を下ろし木鉢に入れて冷します

百演藝案内

壽座　京城壽町　電話五七八番　曲藝　喜劇佐御好武士茶屋　悲劇勇の歴　滑稽づくし『三人滑稽』　江戸生粹いさみ會海老一鐵五郎一座

大正館　電話八七三　本町　八月十日より珍らしい美しい涼しい納涼の親玉

有樂館　活動寫眞常設館　新派悲劇『想夫憐』　全六卷　滑稽活劇『チヤプリンの惡戲』　人情活劇『黒蘭』全三卷　ニコニコ劇『飛んだり跳ねたり』

黄金館　電話二三六六　新派悲劇『霜の夜』全四卷　新派悲劇『鎖』　全六卷

浪花館　電話二六〇　大阪親友派浪花節　竹川馬生、京山若圓三合同　今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

購買　陸軍倉庫　軍靴背嚢搭納箱若干　朝鮮官報ニアリ　八月十五日以降

京都観察團來京に付歡迎會相催候間同府出身者縁故者御賛成の上御來會相成度候
▲時日　八月十七日午後七時
▲會場　京城ホテル
▲會費　金二圓
▲申込所　京城南山町…　石原磯次郎
京都府人會

報告　…表後一週間以内に劇節又は同案發見者…告者には五十錢書籍券を呈す　▲宛名は京城…

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店　京城本町壹丁目　電話長五八番　京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

桂商會　資本金五百萬圓
營業科目　有價證券現物賣買　株式社債債券の募集並に引受　金融の仲介　其他一般信託業務
株價會日報、電信暗號御申越の方に呈す
東京市日本橋區南茅場町七番地　振替貯金口座東京三五二一〇番
長電話　浪花二七六九　浪花二八四八　浪花二八四九　浪花三一八一　浪花三九四九　浪花四四二一　浪花五三一一　浪花五五六八

內科小兒科　入院隨意　京城府龍山元町　鍵野醫院　電話二〇四番

東洋一靴の魁　內田式ストロング靴は堅牢優美、價格一層低廉
御旅行用　靴と鞄　東京市芝區…　內田靴鞄問屋　電話…

櫻谷質舖　京城北米倉町（…）前小路　電話二八二四番　殺生を守り丁寧に親切に高價御預り可申候也

國債債券株式會社　日本勇
右之者大正五年十月廿八日…契約致居候處今回本人死亡に付約款第八條に依り既拂込金全部に年五分の利子を附し御拂戾相成正に受領候也
大正六年八月　父　山口伊太郎

今延商店　致富之栞！進呈　營業所（堂島濱通一丁目）大阪堂島米穀取引所仲買人　電話…

くだりはらの氣持よく止まる健胃固腸丸　大阪　谷田春堂
食傷、寢冷、時候あたりより起る下痢と腹痛を治す
●胃腸易き小粒製健胃固腸丸あり
●小兒には特製の小兒固腸丸あり
十二錢　廿五錢　五十錢　一圓　三圓　五圓

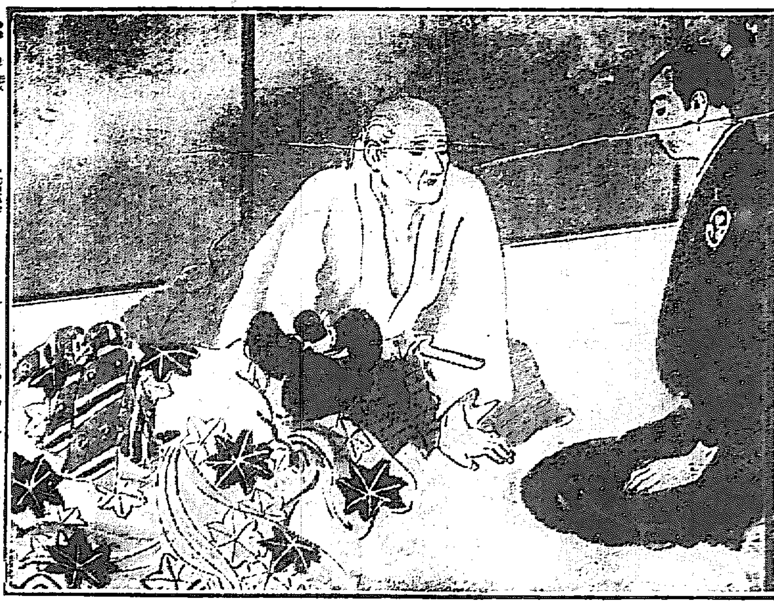
會葬御禮　三田政治郎　友人一同

汽車 [illegible]

明君道中記

第二百三十六席 田邊南龍口演

松平長七郎始終を聞いて涙にくれたが 長『汝主家再興の爲と申すが賊を働き人を害し金を集めて謀叛の旗揚げをなしたればとて決して忠義とは申されん。泉下にあつて父忠長が喜びとするか、決して賞めべきことでは無い、今改めて其の事は止まる様、汝が改心をするのを見たならば長七郎の喜び此の上は無い、必ず思ひ止りくれよ、我は無祿の浪人で諸國を遍歷いたすのが身の望みであるぞ』 鄕『天晴れ明君の其のお言葉只今を限り謀叛のことは相止るでござらう』と云ふによつて長七郎始め宅兵衛宇平次も共々喜びまする、此時鄕太夫は何と思つたか脇差を拔いて已れが腹へ突立たから驚いて是を止める 長『コレ何故あつて切腹いたす』 鄕『君の思召を承はつて改心をしたとは云へ武士たる者が海賊を働らき、多くの人の命を斷つたれば何を以て申譯といたさう、責めては死して只此の人々への申し譯、又た二ツには主君への申譯必ず御止め下さるな、只不憫なるは此處に居る娘の深雪、我が亡き後は誰を賴みといたさう、此の深雪をお伴れ下さる樣偏に願ひまする 長『汝が娘の此の深雪確に我が預つた故心配いたさず往生いたせ 鄕『其のお言葉が千萬無量嬉しく成佛いたしまする』と云ひ切て其儘息は絕れたる様子、娘深雪は父の死骸に縋つて泣て居つたが、宇平治宅兵衛に助けられて其儘引退りまする、貯への金銀財寶を小賊共に與へ何發は皆改心をいたして正業に基けと意見をして放ち遣りました。偕か、る山寨があるから許んといふので火を點けて燒てしまひ、彼の深雪を伴れて小豆島を立出再び船に乘つて讃岐の丸龜へ着きましたが、琴平神社へ參詣爲して其の夜は丸龜の城下に宿りました。[illegible]れて諸方を見物をして居りまするを誰云ふとなく松平長七郎君が丸龜の城下に居るといふことを云ひますと、此の丸龜は元生駒家の領分でありましたが此の家が潰れてから當時は同國高松十二萬石の松平讃岐守の領分となつて居りまする、依て高松家より係り役人出張して高松城内へお出を願つた處長七郎堅く辭退をした故、高松家の役人が丸龜へ出張いたして此の讃岐屋といふ宿屋を固めて警衛をして居ります。スルと或一日六十格好にもならうといふ立派な侍が訪ね參つて長七郎君へお目通りを願ひたいと申し入れた、宇平治より是を取次で申し上げると長七郎承知いたして 長『其者を此處へ通せ』案内に從へて彼の侍は御前へ出まする 長『予は長七郎であるが其方は何者で何用あつて罷越した 侍『是は始めて御目通りを仕りまするが、某儀は前の丸龜の城主生駒壹岐守高俊の家臣身不肖ながら國家老を勤めましたる生駒帶刀と申す者でございます 長『然て聞及ぶ生駒高俊の國家老帶刀と申するは其方であるか然て何用にて罷越したるか 帶『拙者今日罷出ましたは君へ對して一生の御願ひ御聞濟みあらば高大の御慈悲にございまする 長『何事かは知らんが身に叶ふことなれば聞いて取らせる其の仔細を語れ 帶『然らば是にて委細言上仕る』と帶刀が涙を流して其の仔細を申上げたのでありますが、其の譯を講者が代つて申し上げまする、讃岐國丸龜十八萬石生駒雅樂頭正[illegible]の御子息壹岐守高俊と申し上げます此の方は悪人といふ譯ではないがお餘り器量人ではございません、處が國家老の生駒帶刀が備後福山で十萬石水野日向守勝成の家へ取入りまして勝成は帶刀の器量を見込んで縁組を結び常に書面なぞを取替して居りましたお話に一ッの騷動が起りました其の仔細は次席に



齒科診療 本町一丁目三越向 電話一〇四七番 野田齒科醫院 齒科醫士 野田[illegible]

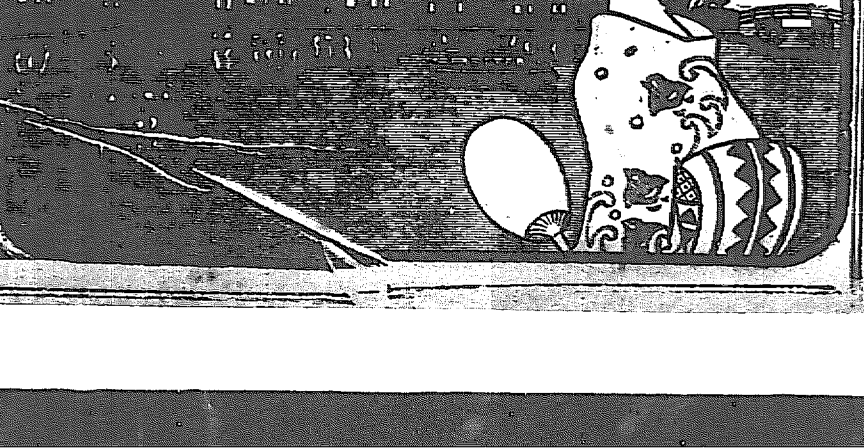
八月十七日 金曜 舊六月三十日 本命三碧 東 大 [illegible]

胃腸藥 太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
定價十錢 廿錢 五十錢 一圓
本舖 東京兩國 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛版 [illegible] 京城 [illegible] 寫眞製版部

夏の齒磨!
涼しくて香のよい
ライオン水齒磨は
すぐれた衛生上の効果と
類稀なる上品な風味とを持つてをります。
その數滴を清水に垂らして含嗽をなされば立ろに
すがすがしいお氣分が湧いてまるります。
食後と寢しなとには是非之をお使ひになる事を
お奬めいたします。
又御旅行の道伴として最も樂しいもので御座います。
ライオン歯磨本舖 ライオン水歯磨本舖 小林富次郎 [illegible]

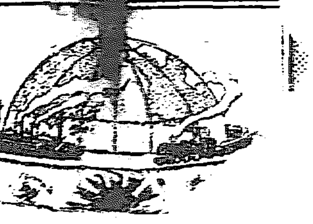
消化と毒けし 仁丹
▲浴後の仁丹一粒は
けふ一日の疲勞を恢復し新しき勢力を生む
誰方も缺さず朝夕に暑さ忘れて夏瘦知らぬ
仁丹必ず召上れ!!
活用
●防疫に仁丹……五六粒
●悪酔に仁丹……二十粒
●食後に仁丹……四五粒
●船暈に仁丹……七八粒
●頭痛に仁丹……十五粒
金言 氷は水より出でて水より寒し (孔子)



京城日報
八月十六日
（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税一ヶ月金拾五錢　三ヶ月分金一圓六十錢　郵税共
廣告料　▲五號活字一行金八拾錢　▲六號活字十六字詰壹行金六拾錢　▲三號活字十字詰壹行金壹圓貳拾錢　▲一字詰同上四拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話番號　編輯局二三五番　營業局一二四番　振替口座京城三〇〇番

ハリマンの雄圖（一）

米國の滿鐵司配は竟に一場の夢なりき



『帝國的に』……

建設的巨人　若しも彼が英國に生れたりせば、彼は確かに彼のセシル、ローヅの如く帝國建設者の一人たりしならしむとは、是れ米人のエドワード、ヘンリー、ハリマンを評する語、彼れの性格と其事業を評し得て遺憾なし。

ハリマンとは抑も何人ぞ、人も知る米國の鐵道王にして一大資本家である。彼のモルガン、ヒル、グールド、ヴンダアビルド等と並び立ちて、彼れは生前米國に於ける數萬哩の鐵道系と太平洋横斷汽船航路を其手に支配したる事業界の巨人である。彼れ若し英人たらば、即ち帝國建設者たるべかりしが、彼れは米國人であるが爲めに、敢て帝國的偉業を試みなかつた。乍併、彼れの資質は頗る進取的であつた。彼は常に『帝國的に』物事を考慮し計畫した。其の晩年に於ける彼れの頭腦は、著しく對外的に傾むいたのであつた。

大抱負大理想　ハリマン氏が米國に於ける鐵道經營の歷史は光彩陸離たるものがある。而して彼が鐵道王として、厖大なる鐵道と汽船事業とを併せ經營するや、其の懷抱し、支持せる根本の精神は、彼が事業家としての生涯を通じて一貫不變であつた。彼れの米國に於ける鐵道經營の一般方略は、約言すれば、大規模の中に均齊あり、理解の下に協同あるべしと謂ふに在る。此の概念に基づいて、彼は米大陸の鐵道組織をば、一大協力團たるべしと見做したのである。米國の鐵道は、其の如何なる系統により、如何に多岐多樣に經營せらるゝとも、必ずや分立の間に統一なかる可らずと、是れ彼が對內的の米國鐵道觀である。然かも彼れは進んで對外的に考慮するを忘れなかつた。何となれば、彼は米國の鐵道を大局より見て、以て世界的交通機關の一部と做したからである。彼れの勢力の、米國鐵道界に覇を成すと共に、彼れの胸懷は太平洋の如く廣大となつた。彼れの理想は世界的となつたのである。彼れ思へらく、吾人は須らく指を歐亞に染むべきである、吾人の理想は米國横斷の大幹線鐵道と、歐羅巴並に亞細亞を横斷する鐵道との協同に依りて、連絡一貫せる世界一周通路を設定するに在りと。

鐵道王逝す？　彼れの胸中に藏せられたる埋火は、直ちに炎々たる焔となつて燃え出でた。世界一周路の設定は彼れにとりて理想と云ふよりは、寧ろ立派な計畫であつた。尤も隨分思ひ切つた計畫ではある。併し彼れは敢て無謀の事として遁進したのではない。此が爲めに如何に彼れが天性の執着力を以て奮鬪努力したるかは、此の一篇の記事の物語る所である。七年、今日突然彼れを拉し來るは、事偶然にあらず。此頃露西亞が東清鐵道の滿洲里長春間を米國に讓渡すとの風說もあつた。米國政府は虛說だと打消して居るが、又ルート氏が特使として露都に赴いた、西伯利鐵道の改築を米國が引受けるのだとの噂もある。兎に角虛實定かならねど、米國が極東に何等かの發展政策を回らすものと覘うに想像する時、茲に故ハリマン氏の雄圖は、必然に聯想せられるのである。米國の雜誌『亞細亞』の六月號にジョージ、ケナン氏がハリマン氏の極東經綸の事蹟を記せる所は、今日の日本人にとり多大の興味と刺戟を覺ねるのである。其記事はハリマン氏の遺族が故人の功業を記念する爲め特に編纂した冊子より材料を取つたので、日露役後間もなく起つた滿洲鐵道買收交渉の經緯が、甚鮮やかなる半面を米國側より窺ふ事ができる。其の中には當時の日本政府當局者に關する事も相當に露骨に書いてあるが、米國側より發表したものをケナン氏の筆に纏めてある事で、事實の適否に就ては責任の限りでない。兎に角今日の我が滿洲鐵道經營の現狀と照合して、往年滿洲鐵道が危うくも米國の手に落ちんとした時の事を回想すれば、實に興味津々たると同時に、吾人の胸奧に強い波動を感ぜずには居られない。

放浪漫記

大谷光瑞

七月三日セレベス島メナドに於て

（承前）午後グリスに至る。スラバヤを去る二十二三哩、海峽北口の傍に於ける三四十メートルの小丘なり。此に至るの道路は平坦にして、兩側養魚池の間を行く。沮洳の地を以て水を滿し、養魚池とす。利頗る多し。丘上に人家多し。中に所々倉庫を作り、海燕の來り巢を營むに充つ。燕は即ちコロカリアにして、巢は所謂支那人の最も珍羞とする燕窩是なり。價其重量に於て銀と相比す。一家倉庫を燕に供さば、全口飽賑するに足ると云ふ。此地望海の眺又佳なり。翌二十四日自動車を驅り、市外に至り、先づスコレジョオに行く。

同地は蔗園の地なり。最近臺灣製糖會社の買收する所となる。會社あり、支那人の經營する所にして、蔗作面積一千一百二十二萬バウ（一バウは我約七反なり）製品は十六、二十號にして現在の製糖額は凡そ八萬俵なりとす。會社は資本金九十萬盾なり。地積大なるに非ず、工場亦斬新の器械に非ず。然れども我資本家が外國に投資するに當りては、其始に馬骨に千金を吝むべからず。況や死馬に非ざるをや。臺灣製糖會社より派遣せらる者、其經營宜に從ふは疑ふべからず。即宮技師又數回ジャバに來り、此地の製糖の業に精通せること邦人中稀に見る偉才なり。臺灣製糖會社の、此の傍適なる數氏を簡派せるは、實に機宜に適せる措置にして、又一に同社の幸福なるのみならず、帝國の利益なりとす。既設會社より引續げる蘭人の支配人、最も勤勉に業に從へりと云ふ。永く新會社に事へて盡さんことを誓へり。又好適任なり。小生は爰に新會社の祝福を祈る。スコレジョオの南、シニゴサリーと名くる地あり、稍高燥なり。海拔五百メートルにして、皆スラバヤの人士の來り避暑するの所と云ふ。諸道路を挾で點在せり。皆蘭人の家屋、徼門を掩ひ、久しく熱帶の花のみを見し眼には、特に新なるを覺ゆ。地に印度文物の遺蹟あり。二夜叉の大石像路傍に殘存せり。歸りてスコジヨオ製糖會社に午餐の饗應を受く。是れ蘭人の支配人夫妻の住宅に於て作る所、佳味頗る口に適す。謹で謝意を表す。スコジヨオを去りプリゲンに行く。同地はアルジユナ山の北麓にして、海拔七百メートル、林木蓊鬱頗る佳境なり。地頗る急峻にして雨多し。然れどもスラバヤ最近の避暑地として、此の右に出づるなし。遙に北望するに、一望廣濶、萬頃の蔗田、悉く脚下にあり。所々屹立せる白煙突は即ち製糖會社なりとす。自動車を去り小馬に騎して上ること約一哩、大小二瀑あり。大瀑は路險にして、遙に山半に望むのみ。小瀑は瀑に近き、之を望むを得。高さ約百餘尺、水流は大ならざれども、白練空より下り、又一壯觀なりとす。此を辭し急行スラバヤに歸り、歸寓す。

涼楊詩話（四）

尹彭

◇皇祇、專門時代に於ける槐南の敎授法は、門人をしてその性質に近いところの滿朝詩人の一人につき、精細に模擬研究させたのであるが、隨鷗吟社時代となると、官職が進み官務が繁しくなり、また詩學がいと/\精しくなるにつれ、古いところに廻らんと思ひ起し、門下には韓昌黎や杜少陵を講じ、傍ら作詩の方法として、字句を剪り裁つことを敎へた。そこで吟社の諸士は、競つて字句の剪り裁ち方に苦心した。であるから吟社時代の詩風は大に鍛錬を重にして來た。

◇字句を剪り裁つことは詩を作るに於て惡いのではない、詩の本地たる支那にあつても、古來この方法で來たのであるが、況んや風土を異にし性情を異にした日本人が漢詩を作るに於てをや。これを實際能く遣つて退けるのが詩の稽古をしたものである。これはたゞに詩ばかりでない。漢文を書くにしても、支那人の書いた字句を記憶して居て、之れを剪り裁つのが漢文を學ぶ稽古である。この稽古を十分積んで爛熟して後に、文、漢詩が手に入るのである。しかし、たゞ剪り裁つばかりが能事でない。これを巧みに運用し、巧みに貼り合せて、さながら自家の思想を自家の言語で自由自在に語り出すが如く融合せねばならぬ。それには骨を折つて書卷を讀まねばならぬ、そして書卷中に現はれたる思想を能く味はねばならぬ。なまなか字句を剪り裁つ許りであつたなら、下手な畫工の畫いた畫のやうで、姿もなければ趣もなく、結局無駄骨折りに歸する次第である。槐南の敎授法は決して惡いではなかつたが、門人中に熱心なる研究家なく、たゞ一時の浮名を貪る位が關の山であつたから、その歿後、忽ち破綻を現はした、それは剪り裁ち專門の諸人の濁路である。

雜・誌・抄

◇矢毒（現代の化學）　野蠻人の用ゐる毒矢といふものは、其の種類甚だ多く中に動物質のものあり、植物質のものあり、又た鑛物質のものあり、又た植物の流汁を用ゐたるもの[illegible]

誰

布施生譯（38）

十五六町も來ると軒並びの家の中に八十三號と云ふのを目懸けて老人は矢庭に驅込んだ、門口には仕立屋の看板が出してある、老人は呼鈴を押してから玄關の硝子板をこつ/\と叩くと、音に應じて戶が開いて取次に出たのは四十格好の小肥りした婦人で心得顏に二人を小座敷に案內した。鈴富は忙しく四邊を眺めると座敷には入口が幾箇かあつて、其一々はそれ/\別の部屋へ通じてゐるらしい、婦人は馴染と見えて老人に御辭儀をしたが、老人は挨拶もせずに一寸目で知らせながら何か尋ねると、婦人は心得顏に「はい、在つしやいますよ」と返辭する「對方かい。」「いゝえ此方。」老人は矢庭に鈴富の手を取つて物も言はず指された部屋へ推入れた。鈴富はつと驚いて戰く聲で『葉樣』と叫んだ、いかにも室內にゐたのは葉孃であつた、平日よりは又一段と奇麗な裝粧が艶やかに立つてゐるのであつた。孃は部屋の中央に裝束を積んだ机を前にして間後目若な食服の端を直してゐた、思懸ない昌の姿を見ると頰を顏を染めて暫時は吾と吾身を持扱つて見ゐたが軈て氣を取直すと例の凛然とした姿に返つた、そして怒を帶びた聲で『昌さん、こんな處まで追懸けていらして、まあ何と云ふ事でしやう、もう二度と私に會はないやうに仰有つたぢやありませんか。』諦めるやうに言はれて昌は一言もなかつた、孃は引取つて『しかし何故ですの？』『しかしあれから色々な事が出來たんです、あの時ついうかうかと彼樣な事を云つたのはもう忘れてほしいんです、今日は何も私が態々貴孃を追懸けて來たんぢやありません、何だか分らない間にこんな事になつたんです』『貴郎があんなにおなりになつて私だつて矢張り苦勞して居るわ、貴郎がお困りになれば私、兄樣がお困りなさるやうに心配致しますわ。』『兄樣？』昌は捻れたやうに『貴孃はあの別れる晩矢張り兄樣と言ひましたね、ふん兄樣か、そんな事を今になつて云ふ位なら何故永い間僕を誑しといたんだ、あの時庭で初めて互の心を打明けた時は、葉樣、まさか私は兄樣ぢやなかつたでしやう。』葉孃は何か言はうとして昌の言を抑へるやうな手態をしたが昌は頓着なく『あれはやう/\一年前の事ぢやないか、それだのに貴孃はもうあの誓を取消したんだ、そして無理に私に迫つて二度と貴孃に會はないやうに約束させたんだ、何が氣に入らないのか言つて呉れもしないで勝手に私を突離しておきながら、世間の人には私が好奇で貴孃を棄てたやうに思はせてゐるんだ、貴孃は二人の間に大きな垣が出來たと云つたね、私は馬鹿だつた、垣と云ふのは貴孃が私に嫌氣がさした事だのに、そうとは今迄氣がつかず――
――。」

日報詩壇

○和笹島紫峰詞盟壽詩韻賀雅大人八十　一番瀬雲山
流輝寶婺燦遥天。含慶萱花開綺筵。桃實夙傳蟠鶴壽。椿陰永保鳳凰年。蓬瀛風月欽清福。鰈域神交感宿緣。想見斑衣歌舞日。承歡膝下賦新篇。
評曰意眞詞麗紫峰兄得此佳作。其喜可想

○山寺避暑　田淵泰州
卍字欄干雲去來。松風蒲地絶炎埃。梵林六月涼如水。連日淹留人忘回。
評曰前半殊清新

○辭官將還故國有作　黒柳静州
拋劍賦歸歟。吾心與水悠。魂飛釣魚渚。千里有扁舟。
評曰大有古調、餘韻不盡

市況

十九錢と寄付きたる新株は[illegible]三十一錢と返したるも小口賣物に[illegible]一向氣乘りせず[illegible]三十錢を[illegible]依然保合を[illegible]今後の變動如何

▲市場閑散　[illegible]

▲米穀　[illegible]

後場　寄付　十九圓三十九錢　止メ　十九圓三十錢　十六日の十月限

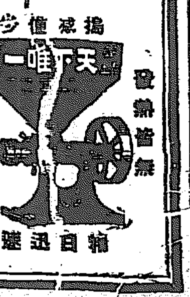
賣買取組高　八月限　一萬四千六百石　九月限　二萬五千百石　十月限　四萬一千九百五十石

山へ海へ旅の好伴侶　會員大募集
日本傳說叢書　信濃の卷
顧問　文學博士森林太郎先生　文學博士喜田貞吉先生
藤澤衛彥編　■內容見本進呈　●全廿四冊完結毎月一冊刊行　●會費毎月壹圓　分賣一冊一圓五十錢
山と水との傳說に多幸なる信濃の卷　駒ケ嶽の北に發する犀川は、川中島に至つて甲武信嶽に發する千曲川と合して北海に入り、諏訪湖に源を發する天龍川は遠江を過ぎて太平洋に注ぐ。夫等の山間盛域に散在する有名なる十大傳說（物臭太郎・善光寺・姥捨山・戶隱山・寢覺の床）を始め二百五十二種の特有傳說を洩らさず蒐めてゐる。
申込所　東京神田錦町三　平和出版社內　日本傳說叢書刊行會　電話本局三三六六　振替東京八四四六

主婦之友　九月號　經濟生活號
實際的に解決せる　經濟生活問題
●經濟生活から見たる衣服問題（宮田校長）●經濟生活から見たる住宅問題（三角女史）●廢物で出來る流行女帶の紋染（さく子）●經濟的な子供運動服の作り方（きよ子）
物價騰貴に處する　安價生活實例
●一ヶ月十八圓で東京市內に親子三人暮（きの子）●僅かな收入から千四百圓溜めた小官吏（よし子）●生活費卅八圓で四人暮らしの都會生活（たか子）●月收五十圓で七人ぐらしの家計（やへ子）●日給四十錢で夫婦二人暮らし者の活計（さよ子）
●獨立心を重んずる英國の母親（マクドナルド）●溫い中にも嚴格な米國の母親（櫻田夫人）●日本人によく似た佛國の母親（吉田夫人）●質素と堅實は家庭敎育の根本（淺田夫人）●赤坊を丈夫に育てる秘訣（其二）（石井ドクトル）●田舍奥樣の書いた東京見物見（緑田お菅）●千圓貯金した貧民學校の小使（坂本校長）
物價騰貴難に處する中流主婦の覺悟に就て（嘉悅孝子）
本日出來　特價金二十錢（送料一錢半）半年分一圓五錢　東京牛込赤城元町　振替三三七八六番　東京家政研究會

短期速成　建築科講義錄
新學期開始—會員大募集—僅か一ヶ年にて建築の奥義を極む—講師は斯界の專門大家—會費は低廉比なし—講義は平易明瞭にして實用的也—見本附規則書申込次第進呈—業界の大會社に續々推薦あり
東京市麴町區飯田町三　帝國工業敎育會

白米にするまで……全國に於て只棄てる五百萬石
搗減少なき本機は之を半減す
專賣特許　清水式無砂精米麥機
東宮殿下御即位式主基齋田御用納　御金銀牌十數個受領
說明書定價表申越次第送呈
製造發賣元　陸軍御用達
東京市神田區五軒町三番地　合資會社　清水商會
特長電話下谷三七三四番　振替口座二〇七〇〇番

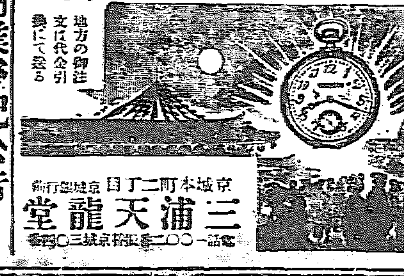


創立十五年
小學校を卒業して中學校に入學する事の出來ぬ事情ある青年は甚深なる經驗を有し指導最も懇切にして基礎最も確實なる本會に入れ是れ立身出世の最捷徑なり
大日本國民中學會
東京駿河臺　電話本局二〇〇二番　三〇〇四番
會長　尾崎行雄
學監　文學博士遠藤・理學博士山內
一年半の間に中學全科を完全に卒業せしむ講義は最新式通信教授法に依り多年の苦心考案に成る質問は自由學校に於て學ぶと異ることなし
新學期紀念大特典提供
講義錄見本付　會則無料進呈　直に申込あれ

新田式耐水調革
新田式バラタ調帶
新田帶革
朝鮮總代理店　京城本町四丁目　白神洋行
定價表御申越次第送呈

商業登記公告
株式會社漢湖農工銀行鐵原支店登記
監查役金漢奎及金容燮ハ任期滿了ノ處大正六年八月四日重任ス
右大正六年八月十一日登記
京城地方法院鐵原支廳

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る



京城本町二丁目　京城鐵道御用
三浦天龍堂
電話一〇〇〇番　振替京城三〇四〇

○露國の工場調査
特別軍事總代を各工場に派遣

最近に於ける露國々防會議特別委員會に於て陸海軍省に供給をなす大小工場及び冶金場を調査せんとの問題出で絶大の權限を有する特別軍事總代を選任して各工場に派遣すべしとの重要法律案提出されたり猶ほ國防の爲に作業する工場には種々の精製原料を下附する事としたるが其の指定事業工場左の如し(露都電報)
(一)飛行機發動機製造工場(二)彈藥及び爆藥製造工場(三)有毒瓦斯製造工場

○濠洲同盟罷業擴大

濠洲開港地の同盟罷業益々擴大し本邦船舶にして荷役不可能の爲め損害を蒙りつゝあるは天津丸、日光丸、山形丸、長野丸等なり(シドニー電報)

○ボ氏四國不參加聲明

ボナーロー氏は英國下院に於て英、米、佛、伊四國はストツクホルムの社會黨大會に委員の參加を許可せざる旨を聲明したり(倫敦電報)

○獨飛行機擊破墜落

十二日イングランド海岸に獨逸飛行機大襲來せるが内一臺は飛行機射擊砲により擊破され墜落せり(倫敦電報)

○賠償債務支拂停止

一千九百一年義和團事件議定書に基づき獨逸に支拂ふべき支那の賠償金額は元利約二億圓あり毎年支拂ひ來りし額六百萬圓なるが宣戰と同時に支拂ひを停止せり又獨逸銀行に有する一億七百萬圓の債務履行も停止すべし(北京特電)

○露大使館旅券下附中止

東京駐劄露國大使館は本國政府より通報に接し本國に歸國せんとするものに對し旅行券を下附することを一時中止せり(東京電報)

○内務增俸總額

内務省に於ける明年度官吏增俸總額は約三十萬圓なり(東京電報)

○遣米議員

衆議院各派の遣米議員は十五日政友會の政尾藤吉、島田俊雄、憲政會の[illegible]本太郎、國民黨の植原悦二郎、維新會の山根正次の五氏

○航空家

原田海軍大佐は又山田大[illegible]

○宮尾長官通過

宮尾關東都督府民政長官は十五日夜奉天著一泊の豫定を變更し更に旅順に出發せり(奉天特電)

○米國砂糖禁出

豫て食料品に對し輸出制限の手段を採るべしと喧傳され居たる米國政府は其第一著手として砂糖の輸出禁止を實行せる旨來電あり若し果して事實なりとせんか其の影響は比律賓群島を産地とし仕入先とせる赤糖等の貨物にも及び糖界全般の商勢大沸騰を見るに至らんかと(東京特信)

○滯貨處分一策

朝鮮人夫使用貨行[illegible]は約十餘萬噸に[illegible]らば巨[illegible]之が對[illegible]に命じ本[illegible]之に係[illegible]ある[illegible]のみ[illegible]に臨[illegible]て而[illegible]底進[illegible]めなり[illegible]にては朝[illegible]今回許可[illegible]日名を使用[illegible]

好況を以[illegible]速設立認[illegible]會趣旨五[illegible]に達し基本財産約五千圓を得たる由入學志望者既に百餘名に達したりと云ふ又以て如何に鮮人間に教育熱[illegible]る意氣込にて奬勵を行ふことゝし[illegible]米改良に資せん方針にて十三日は職[illegible]▲[illegible]坪新築費一千三百九十圓の事務室を新築し現在の事務室を教室に充つ[illegible]本願寺布教所にて八月例會を開催し庫上前田常務部長の講演あり[illegible]

●東淸値上問題
値上率及び實行期協定

東淸鐵道の貨客運賃値上に關し滿鐵會社にては當時哈爾賓公所をして東淸鐵道支社に對し抗議せし處ありしが之に對し同支社は單に經營上の實行機關に過ぎずして責任ある辯明を爲すの權限を有せざるを以て直接露都の本社に交渉せられたしと回答したれば滿鐵公所は更に其旨東淸本社に對し電報を以て抗議する處あり其結果同本社は今回在哈爾賓東淸支社に向け同支社より關係鐵道に對し協議すべき旨電命すると共に滿鐵會社にも同樣回答し來れり依つて滿鐵哈爾賓公所常業者は十一日東淸支社に至り其代表者と會見協議中なりと會見の經過並に結果に關しては未だ滿鐵本社に入電無きを以て知るを得ざるも右會見協議中の主要事項に就て今滿鐵當事者の談を聞くに運賃値上率は浦鹽線の四割に對し哈爾賓以南線の貨物十割客車五割なるは甚しく當を失せるものと謂ふべく且つ七月二十八日より既に値上を實行し居れるも滿鐵側は之に對し未だ承認を與へ居らざれば今後其實施期を改めて協定の上實行せんとするに在り同時に同實行期以前の聯絡運賃に對しては値上率の拂戻を爲さしむべく交渉中なりと(大連)

觀瀾亭雜俎
蘇峰生

○凡そ園藝程、健全なる快樂は少かる可し。但だ一たび手を此に染むれば、風に、雨に、旱に、暑に、霜に、雪に、蟲に、中々一通りの心配にあらざる可し。是れ所謂る無精者の、能くする所にあらざるなり。

○されば全く天然たらざれば、せめて天然に近きものを取る可きのみ。我が老龍庵學大の園中、亦た若干の花木なきにあらざる也。但だ徹して伐らず、搭はず、水せず、肥せず、唯だ殆んど之れを自然の手に一任するのみ。然も春夏秋冬、若干の花を斷たず。是皆な洪水老人手植の餘惠と云ふ可きのみ。

○夏の花としては、夾竹桃を看過す可らず。色彩けば〱しく、野俗なるが如きも、何となく南國の氣分を代表す。幼時予が東火の蓋北の海濱に家するや、庭の片隅に一大夾竹桃樹ありしを記憶す。

○山百合は、夏期花中の女王也。未だ知らず今尚ほ存する乎、否乎。此邊には梅雨前後に開くものと、土用前後に開くものとあり。乃ち、五月下旬より、八月中旬迄、遞次に見るを得可し。然も最も可憐なるは、撫子也。記者は其の野趣ありて、楚々愛す可きを賞す。石竹に至りては、園藝上よりすれば、撫子の進化なる可きも。觀賞上より云へば、退化也。

○更らに缺く可らざるは、凌霄花と百日紅と也。兩者は何れも人をして、夏の氣分を美化せしめ。又た美化したる夏の氣分を、人に寄與す。試みに午睡覺め來りて、百日紅の烈日に映じ、凌霄花の炎天を仰ぐを見よ。

●鯖漁新記録

咸鏡南道にては今夏鯖の一大豐漁あり永興灣口、麗島、虎島近海より西湖津沖合並に咸興郡湖浦より洪原郡從社里三湖に至り六月十日前より下旬に至る僅々二十日間に於て一千六百十六萬尾の漁獲を見たるが斯の如きは當に咸南に於ける未曾有の豐漁なるのみに止まらず朝鮮鯖漁創始以來の新記録なりと

●組合戶別割徵收狀況

大正六年度第二期京城學校組合戶別割徵收狀況を聞くに其の法定納期たる七月末日現在に於て調定額三萬九千百七十五圓二十五錢に對し收入金額一萬五千三百七十六圓四十五錢此歩合三割九分にして昨年同期の三割一分に比し八分の增收なるがこの未納六割一分に對し目下督促狀調製中なれば兩三日中夫々發送の運に至る可しと

●平南綿布産額

平安南道に於ける大正五年度綿布の産出額は三十萬二千六百十一匹價格四十六萬一千九百十一圓なるが之れを細別すれば中木一萬三千五百八十四疋價格十七萬五千三百二十一圓細木七萬六千四百十五疋價格十三萬七千百三十八圓水木三萬八千百四十七匹價格五萬一千四百二十一圓粗布一千六百八十四匹價格二千四百六十一圓其他七萬二千七百八十疋價格九萬四千二百二十五圓なりと云ふ(平壤)

●朝鮮陶器埋築出願

朝鮮陶器株式會社にては工場設置及び製品工場用品の積卸に使用する爲め釜山牧島、南鶴洞前海軍貯炭場、北側海岸千六百卅八坪と同島瀛仙洞ライジングサン石油會社タンクと大池精米所間の海岸七百四十坪七合の埋築を爲すべく同社は十一日を以て之が許可出願せり

●學校組合出納調査

京城學校組合にては十六日午後一時より府廳內に於て會計檢査委員會を開き大正五年度に於ける出納に關する調査をなすべく田中、深水、服部、上野の四議員委員として出席すべしと

●朝鮮輕鐵總會

朝鮮輕便鐵道會社は既電の如く十一日午後一時帝國鐵道協會に於て株主總會を開き牟田口社長議長席に著き營業の概況を報告し終つて左記政府補助金及び收入金處分案を可決し次で故取締役園田實德氏に弔慰金贈呈の件は重役一任に決して散會せり(東京特信)

政府補助金	二二、五〇〇〇〇
資本勘定收入	一二、六三九、四六
計	三五、一三九、四六
內株主配當金(年六分)	二二、五〇〇〇〇
別途積立金	一二、六三九、四六

●鮮銀監理官
理財課長の兼任

理財課長の兼任を命ぜられし關稅課長有賀光豐氏は十三日附朝鮮銀行監理官を命ぜられたり

□橫斷航路と運賃
特派員 中島克巳

▲經濟的通路

前項に於て記述せし如く最近我が北鮮牛移入事業に由り其の端緒を開かれ而かも北鮮牛の敦賀移入が往年に於ける各種の束縛と不自由より全く開放せられ極めて容易に販賣搬出の途開拓せらるゝに至りたる結果は益々橫斷航路をして其の開通の機運を促進せしめ今や將に敦賀及び北鮮に於ける投資のみならず事業家官民の等しく切望して已まざる所となるに至れり然らば果して北鮮敦賀間連絡日本海橫斷航路が兩地間物資の回漕及び旅客の運搬に如何なる利便を保有せるや。京元京釜線關釜連絡航路及び山陽線に由つて阪神名古屋方面。若しくは海路元山釜山門司大阪神戶線等に由る物資の運搬通路より遙かに優秀なる經濟的交通路たるは言を俟たざる所にして時日及び運賃の節約は延いて物價に多大の好影響を齎すべく期せずして商取引の圓滑朝鮮內地間貿易の繁榮を見るべきや必せり仍ち記者は兩地間の距離及び運賃を今少しく計數的に記述して新設橫斷航路が現行幾多の通路に比し最も有利なる經濟的交通路たる事を明にせんと欲す

▲距離及賃金比較

新設橫斷航路以外の賃金は現行三等賃金により浬の哩換算は一、一四七四に由り浬數を乘ずるものとし而して淸津敦賀間四百七十五浬淸津元山間二百十一浬元山敦賀間四百七十浬元山釜山間二百九十八浬釜山下關間百二十三浬下關神戶間二百四十浬とし新設航路三等賃金は元山敦賀間七圓淸津元山間四圓淸津敦賀間九圓と假定し

淸津より米原に至るに●●●●

(一)新設橫斷航路北鮮敦賀線に由り元山敦賀經由	八一七哩四二	九圓五〇
(二)海路元山に出で京元線京釜線關釜連絡船及山陽線經由	一二三三哩二六	一九圓五〇
(三)海路元山釜山を經て下關に至り山陽線經由	一一四六哩五九	一五圓八六
(四)海路元山釜山下關を經て神戶に至り鐵道に由る	一〇九二哩六六	一四圓三八

●●●●●●●元山より米原に至る●●●●●●●
(前記の順路に由る)

(一)	五七五哩三二	七圓五〇
(二)	九九〇哩一六	一五圓五七
(三)	九〇四哩四九	一一圓八六
(四)	八五〇哩五六	一一圓三八

●●●●●京城より米原に至る●●●●●

(一)京釜線關釜連絡船及山陽線經由	八四三哩一六	一二圓七五
(二)京元線新設橫斷航路に由り元山敦賀を經て鐵道に由る	八三一哩〇六	一〇圓三二

右表に依つて之を觀れば元山淸津より米原に至るに新設橫斷航路に由れば、著しく短距離たる事明にして京城より米原に至る道程に於ても尙京元線及び新設航路に由る方京釜線に由る現在經路に比し十二哩一歩の短縮となり而かも其の賃金の差に至りては又著るしきものあり即ち前表の示す如くにして米原附近及び其れ以東は本土と京城附近及び其以西大陸との間に於ける最も有利なる經濟的通路なると同時に其の元山淸津地方と本土との關係に至りては單に米原附近以東のみに止まらず大阪神戶に至るも猶且つ經濟的交通路たるを失はざる事左表に由つて明なり

●●●●●元山より神戶に至る●●●●●

(一)新設橫斷航路に由り敦賀に出で神戶に出づ	六百七哩四五	八圓八八
(二)元山より京元線京釜連絡船を經由り神戶に至る	八八〇哩三三	一四圓九六
(三)元山より海路釜山を經て下關に至る線に由る	八一二哩三六	一〇圓四〇
(四)元山より海路釜山下關を經て神戶に	七五八哩四三	一〇圓〇〇

要するに新設橫斷航路は北鮮及び各種物資の生産地たる阪神名古屋方面及び其以東を連絡する最捷路にして其の經濟的なる事現在各種通路の遠く及ばざる所既に回漕業者のみならず朝鮮內地間貿易採算者の等しく著目する所たらずや即ち本航路定期開始の曉には吾人の豫想以上物資の移出入多量なるものあるべく一年中を通算し平均四五百噸以上の船荷積載は蓋し容易なるべく單に畜牛の販路擴張のみならず北鮮及び裏日本の經濟界に活氣を呈し惹て帝國の產業北滿大陸貿易の發展に一層の利便を齎すべきや明なりと信ぜらる

●土地調査減員

土地調査局判任官定員は千八十人なりし所八月十五日より五十七人に減ぜられたり

●南洋製糖株の分讓

南洋に於ける既設[illegible]の企畫に刺戟せられ[illegible]途有望なる爲め資本金六百萬圓の企畫に對し朝野知名の士申込殺到して一千萬圓に擴張し[illegible]平岡定太郎氏を創立委員長とし[illegible]今回市內明治町二丁目京城生[illegible]店にては他店の企及す可からざる割安にて分讓する由にて同店に申込めば詳細なる目論見書を送呈すと

■公州短信

▲道長官歸任 大田市街地水害狀況視察の爲め十二日より同地へ出張中なりし上林道長官は十四日歸任せり▲校友會開催 公立公州高等普通學校にては各地へ遊學中の卒業生多數暑中休暇にて歸公し居るを以て十四日午後一時より同校に於て校友會を開催したるが各種の餘興等ありて非常の盛會を極めたり▲巡查補採用 忠淸南道警務部に於ては管內各署をして巡查補募集せしめつゝありしが愈々十五日を以て採用試驗を施行する筈なるが公州署へ志願書提出したる分は十七名なりと▲郡守會議 忠淸南道に於ては本月二十二日より三日間の豫定を以て管內郡守及び庶務主任會議を開催する由

人事消息

▲十六、夜南大門著列車にて京都貿業視察團一行二十九名、十七日夜大阪敎育家視察團十名、十九日夜京都第一高等學校生徒職員見學團三十名入京、何れも原金旅館に投宿す
▲湯淺孝之助氏(三井物產經育支店長) 十五日夜退京滿洲へ
▲木村林次郎氏(三菱社員) 十五日退京內地へ
▲長島翊四郎氏(大阪辯護士) 十五日入京不知火へ
▲尾山直治氏(久原鑛業技師) 十五日退京內地へ
▲松村正七氏(三井物產社員) 十五日入京山本旅館へ
▲藤川利三郎氏(平北道長官) 十五日夜義州へ歸任
▲士屋敬氏(成興鑛山所) 十五日入京泉金へ
▲永谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 十五日夜退京

■南言北語■

眞僞は明らぬが獨逸が瑞西に出兵するとか云ふ說がある▲瑞西と獨帝との間には鳥渡面白い話が殘つて居る▲千九百十一年の事瑞西は大演習に獨帝を招待した▲獨帝の方では多分假設敵は露西亞だろうと思つて▲頗る興味を以て見に行つて見ると▲豈計らんや獨逸であつたので一時はロアングリ▲仕舞には彼のカイゼル髭を無茶にこぎ上げつゝフン〱してサツサと歸つたげな▲今度は其仇討ちに地獄へ道づれにする積りかも知れぬ▲獨帝と云へば最一とつ面白い話がある▲イヤ之れは餘ツ程前ツぽい方でナ▲曾て伯林の興行中獨逸皇太子と浮名を流した許りでは無く姙娠の噂迄傳つた時▲獨帝をして『孫だらうか子だらうか』と大に顏慮を痛まし奉つて▲艷名を一時世界に走せた亞米利加の唱歌女のファーブル嬢は此程手下なと和蘭の俳優と結婚したさうだ▲獨帝は此の報を何と聞いたのだろう▲ヴエルダンの敗報よりも癪に觸るだろう▲嘘の樣な眞實で眞實の樣な嘘は支那では何の不思議もない▲だから時とすると瓢簞から駒が飛び出したり吐月峰から龍が飛び出す▲之れも嘘の樣な眞實眞實の樣な嘘かも知れぬが兎に角先夜北京の飯店で張勳と馮國璋君とが密會したとナ▲周旋者は例の和蘭公使で當夜復辟關係の連中は大概集つて江朝宗君なども控へて居た▲張勳はやをら復辟の連判狀を取り出し己をふん縛つて法廷で爭ふなら之れ此の連判狀がものを云ふぞ▲ヘツヘツヘ……が此儘に仕て置げばナ其處は水心あらば魚心でテナ事で散々一同の油を搾つた相な▲張勳も其處になると武骨一片ではなくて却々の狸爺だワイ

何地より來たりし低氣壓は朝鮮[illegible]各地に降雨を催せり[illegible]高氣壓[illegible]北東部に通過するに[illegible]

カーバイド

東洋卒先者たる我田中カーバイドは品位卓越にしてアセチリン瓦斯の發生力最も强大なる事他品の遂に及ばざる所世間の定評なり

各種ランプ及附屬品

漁業用鑛山用室內用自轉車用作業用等堅牢完全なる各種ランプ及附屬品格安に販賣仕候

田中カーバイド 鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地
山陽商會

近時の戰爭

參謀總長上原勇作閣下題辭
陸軍大臣大島健一閣下題辭
陸軍一等主計山田久太郎著

新刊發賣 四六版並製 定價五十錢 郵稅金六錢

戰爭に關する唯一の虎の卷

開闢以來幾千年、世界の歴史は殆と戰爭を以て始終すと云ふも妨げず。國家の對立と人類の生存とに於て戰爭は到底防遏す可からざると與に亦た之を豫知すること到底不可能なり。大正三年以來勃發せる歐洲大戰亂の如き誰か此事あるを豫知せんや。されば世界列國が常に平和の日に於て戰備に汲々たるもの固より其所也。本書は戰爭の本義、戰爭發生の原因、戰爭の種別、勝敗の原因等に就て、著者が專門的の知識を傾注し、一般國民に對して戰爭に關する[illegible]

發行所 東京市京橋區日吉町 民友社
發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

在庫 鐵鋼 豐富

京城南大門通五丁目
(天)福田又京城店
電一二一 振替二九二

◇大好評滿員續き
江戶生粹いさみ會
滑稽喜劇 海老一座替藝題
八月十六日
一舞臺定曲 藝 一幕
一舊喜劇 依御好武士茶屋 一場
一新悲喜劇 勇の纒 三場
一藝づくし 三人滑稽 一幕
愈々來る十八日限り御見落しなく御觀覽を乞ふ
京城 壽座

發電機賣物

一ラストンプロクター會社製吸入瓦斯機械 百三十馬力 壹臺
一ゼネラルエレクトリック會社製三相交流發電機 七十五キロワット 壹臺
其他配電盤及附屬品一切
電壓 三千ボルト 回轉數七百二十回 サイクル 六〇
製造年月日 西暦千九百十年製
右は試運轉渡し
福岡市下西町 金物商 松隈本店 長電話四十一番

[illegible]協議成り之が新築費及び基本財産を兩面民籍志家の寄附に待つこと〻し右募集したるに金二百圓以上を醵出[illegible]新築落成を見るに到るべく其筋の認可に接し次第九月一日より開校すべしとのことにて寄附金總高は七千餘[illegible]は本月中に[illegible]想の普及せるかを知るべし▲稗拔獎勵　清州郡にては去る十三日より管內各面に職員を派し出穗前に於て稗拔取を極力獎勵し一本も殘さゞ[illegible]兒童の增加により敎室の狹隘不足を感じ昨今來之れが增築計畫中の處今回其筋の認可を得て愈々建坪二十六[illegible]築して女生徒を之に收容することゝし既に工事に著手したれば遲くも九月末迄に竣工すべし▲青年會例會　清州實業青年會は十二日午後八時よ[illegible]

八方塞りの獨逸

◆支那の宣戰が直ちに武力の壓迫で無いにしても東洋に對する毒牙の策源地を失ふ事となる◆

支那の對獨墺宣戰も隨分久しい間の懸案だつたが十四日の午前十時いよ〳〵交戰狀態に入ることゝなつた、これで協商國側はまた

◎一つの味方を得た譯で、反對に同盟國側は敵の新手を一つ增したことになつた、これで見ると獨墺側は東洋で日本、支那、暹羅を向ふに廻した事となるが、獨逸もいよ〳〵八方塞りで愈よお終には自滅する他は途がなからう、支那として這回の英斷に出たのはこれまで隨分議論もあつた事であるがこれ自然の道行であらう、無論協商國側も支那の參戰をよろこばぬ譯はなく

◎それ丈け味方が增、わた次第だがこれを以て例の英國の外交の成功といふことは何うだらうか、支那の這回の處置は支那が第二の土耳其たるの運命に陷らぬ爲め支那自身が決した問題で若し今のまゝで有名無實の中立を續けて居た日には例の惡辣な獨逸の魔の手は否應なしに四百餘州を掻き亂して了だらう

◎此の際支那が決然起つたのは賢い態度と云はねばならぬ宣戰と同時に支那は先づ獨人の治外法權を取上げてしまふだらうその他政府の要路に居る獨人の顧問等を追ツ拂ひ例の獨探の巢窟を一掃して、獨逸の手も足も出させぬ事にするだらう、また獨逸の艦船を沒收するし俘虜にすべき者はドシ〳〵捕へようし、專管居留地も無論沒收するだらう、斯くして

◎獨逸が支那に對して築いた土臺はすつかり根柢から覆された譯である、假令獨逸が戰後に至り此損失を恢復しやうとしても烏渡ではむづかしからう、但し支那に於る治外法權並びに關稅の關係は戰後支那に勞力がなくて獨逸が他の條約國同樣に均霑するといへば餘儀なく承諾せなければならぬとになるかも知れぬ、これを獨逸側から見れば假分支那の宣戰が

◎直ちに武力の壓迫でないにしても東洋に對する毒牙の策源地を失つたことになる、且つまた從來は支那の某地點が獨逸の無線電信仲繼所になつて居つて其處から再び南米方面に通信されたものだが這回は愈よそれも不可能となつた、それに本國へ歸還するとの能きぬ者は蘭領の瓜哇あたりへ行くより他に途がなからう、これを日本の立場から見れば餘り大した問題ではなからう

鮮人千餘名大擧して無法なる支那巡警を襲撃せんとす

鮮人に對する支那官憲の態度一變す

去月二十九日夜間島龍井村に於て端なくも支那巡警と朝鮮人との間に衝突を生じ支那巡警は無法にも拔劍して朝鮮人を負傷せしめしなり平常支那巡警の爲めに默迫せられし

▲朝鮮人の憤慨は玆に勃發して此際支那巡警を膺懲せざるべからずとなし鮮人千餘は大擧して支那商埠局を襲撃し支那巡警を膺懲さんとせしも我が官憲の爲めに果さざりしが之が爲め支那官憲は大に狼狽し朝鮮人に對する態度一變するに至れるが一方龍井村の重なる朝鮮人は集合して第一商埠地內に居住の鮮人に對しては一切警察權を行使せざる事、第二不法巡警を處罰する事第三負傷鮮人に對して相當の損害金を賠償する事等を決議し其筋へ陳情を提出せるを以て總領事館が支那官憲に交涉せしに支那官憲は既に不法巡警

▲四名を罷免し　鮮人に對しては將來の態度を一變し日本人同樣に取扱ひ容喙せざる事を諾せるも第三の損害に對しては多少異議ありしこの事なるも之れ亦近く解決するに至らん因に鮮人に對する警察權は新らしき收得權にあらず永滿鐵道事件時代に復せしに過ぎざれば一般に向ひ一步進めて新協約の實施を希望し居れり(滿洲)

手は人格の表示

『最近の法律思想』なる題下に滔々二時間に亙る牧野博士の講演

牧野博士の講演會は既報の如く十五日午後四時より東洋協會學校主催の下に京城高等女學校講堂に於て開會せられたり先づ荻田總務局長は博士を紹介し博士は

▽急激の如き　拍手に迎へられて登壇、演題は『最近の法律思潮』といふ極めて趣味あるものにて先づ近代に於ける法律思想發達の據つて來る所を論じて曰く『抑も人間の特長は手にあり』とて『手』なるものを人間學上及び動物學上より詳說したる後ち『手は社會的生活と最も密接なる關係を有す』とて『手と所有權』の相關する所を說明し『手は斯くの如く中心視せられ居るのみならず、又た

▽人格を表示　するものと認めらる。假令ば日本にても『相手方』といひ『車馬其他の乘手』といひ『運轉手』と云ふ如き是れにして則ち『手』は『人』なる意味を現はせり。西洋に於ても亦然り矣』と一々引例を擧げて說明を試み、更に進みて『十九世紀半以後個人の覺醒と

▽自我主張の　原因を闡明し、法律上に於ける自然發達上の過程を細說し『人間の手は斯くの如く原始的道具より進んで他人の手を利用するに至り更に進みて蒸氣及び電氣なる道具を發明し此の道具を得て益々是れが利用の範圍を擴大し來れり。是により物質文明の進步は

▽驚く可き者　ありと雖も吾人の思想及び社會的狀態に想到すれば幾多思想上の犧牲を拂ひて贏ち得たる自由及び權利が其の對的關係に於て、極めて複雜化し却て自ら苦しむの現象を招來せり。則ち困難なる社會問題は此の間に滋生し來り資本家對勞働者問題の如き今日世界各國に於ける最困難、最重大なる

▽問題こして　爲政家及び學者間の熱心に研究しつゝある所たり。而して此の現象は近世に於ける法律思潮に著大なる影響を及ぼすに至れり』と滔々二時間に亙りて講述し、頗ぶる聽衆の感動を促したり、此の日聽衆一千餘名にして空席なく室外にて傍聽せるもの極めて多かりき

◎山中で阿片煙の密造

慶南昌寧郡釜谷面溫井里農尹澤(三九)尹鐵朝(三九)陝川郡沙山面幸陽里尹錫宇(五九)昌寧郡釜谷面溫井里朴容浩(三七)王局伊(三十)等は共謀し阿片煙を製造せんと山中にて密かに罌粟を栽培し七月十日より十六日迄尹澤洙方にて阿片を密製中を昌寧警察署の探知する所となりて悉く逮捕さる

◎四名を殺傷して自殺す

香川縣木田郡古高松村楠內春次(三二)は發狂し一家四名を殺傷し十五日自殺したり(大阪特電)

◆牧野博士と聽衆

東洋協會主催十五日高等女學校に於ける牧野法學博士の講演

◎九鐵全部開通

九州鐵道は熊本線小川有佐間不通のところ復舊工事成り十五日全部開通したり(門司特電)

◎頭骨を種に騙る

慶南昌寧郡大合面兎山洞居住の姜相吳(三四)は盲目にして各地を廻り賣卜を營業中本年三月慶北慶山郡慈仁面東部洞に赴き同地居住の兩班金潤根は數年前に何者にか墳墓を發掘され亡母の頭骨を竊取されたるを知り自分が占へば墓を發掘したる犯人及び頭骨の所在も判明すべしと說き謝禮として金二百圓を提供するとの答へなるより直ちに郷里に引返へし他人の無緣墓地を發掘して頭骨を取りこれを携へて去る五月二十九日前記金方に赴きこの通り頭骨の所在は判明して持參せりといひしに金より開けは亡母のものにあらずと看破されて二百圓の謝禮は無かりしも旅費その他として金七十圓を貰ひ受け愴惶郷里に歸りたる所を此程其筋に探知さる

◎汽船帆船と衝突

木浦發仁川行尼崎汽船大有丸が七日午後九時十八分頃全南老鹿島燈臺附近航行中務安郡朴谷面新積里曹南淑の所有百石積の帆船は同郡巖泰面新石里張吉三(二六)船頭として三名の鮮人を便乘し耳島より木浦港に向けて航行中風強かりし爲め舵を誤り前記大有丸に衝突船尾を破壞したり大有丸にては之より先無燈の帆船近かんとするを見て汽笛を鳴らして警戒せるも遂に衝突せるより直ちに端艇にて船員を救助し帆船は遂に放棄して八日夜仁川に入港したりと

◎東遼河氾濫

守備隊後にて避難

十四日來東遼河氾濫し鄭家屯に近き三江口は洪水に襲はれ十五日朝來同地守備隊は後にて避難せり(奉天特電)

◎高松電車　車掌同盟休業

高松市の電車運轉手車掌賃金値上の爲め十五日同盟休業し會社にては目下鎮撫中なり(大阪特電)

◇朝鮮附近の地震

仁川觀測所設置の微動計は去る十三日午後三時頃微震を感じたるが其振動は午後三時二十六分四十三秒に始まり尤も鮮明なる初期微動を四十秒間繼續の後急に主要動を惹起し直ちに極大動となり午後三時二十七分三十二秒に於て全振巾〇・一ミリに達したるも爾後振動次第に衰へ午後三時三十二分頃に全く靜止せり其後本地震の餘震とも認むべき微震を午後三時四十二分七秒及び午後三時四十七分三十九秒の二回出現したるも甚だ極微なるものなり本地震の推定震源距離は約八十里となるを以て震央地點は半島附近の海中にあるものゝ如くなるも未だ何れよりも震地の報告に接せず(仁川)

◎慾の深い老婆

熊本縣天草郡瀬上村生れの小山きの(五七)は京城治町二丁目下宿屋牧ミみ方にて縫糸の端切れ(價六圓餘)を竊取し若草町の三浦質屋に一圓五十錢に入質したることを發覺して本町警察署に引致取調べの結果同人は以前太平通二丁目飲食店東京亭事坂本方に雇はれ中家人より吾妻コート一枚(二十圓)の入質方を依賴され櫻井町二丁目の質屋に四圓に入質しながら二圓なりと詐稱し差金二圓を橫領し尙同家が他に轉宅の爲め其の前屋賃として預かりたる六圓をも橫領消費しゐたる旨自白し身柄は檢事局へ送らる

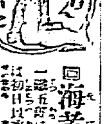
運動界

▲大連試合中止

滿洲側の規則無視　大遠征軍對大連軍の試合は豫定の如く昨十四日午後四時より大連北公園コートに於て開始されたるが遠征軍は最初形勢よく三組の優勝組を出したるも大連軍大將組よく盛り返し終に中止となる本日決戰を期せんとすれど敵は規則を無視し禮を缺く終に試合中止に決す我軍は終始男子的なるを誓ふ(十五日午前十一時奉電)

◎晝鳶

滋賀縣神崎郡八幡村生れ京城南大門通り五丁目居住淸水政太郞(三二)は前科二犯あり八月十二日午前八時頃南大門通二丁目古物商金德洪方家人の隙に金色懷中時計一個外一點(價四圓六十錢)を竊取逃走中を居合せたる黃金町一丁目の申相弘に押へられ本町署に突き出さる

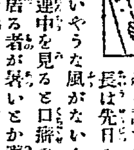


◎海老一　京劇海老一一座五名にて開演中の壽座は初日以來毎夜大入滿員その盛況にて相變らず好評を博しつゝあるが、十六日夜は特に一座の最も得意とせる西洋踊武士茶屋二場を出し、外に悲喜劇兒子の國といふ盛物のいゝところを出す由

◎稻荷座　京城博多仁輪加連中にて十五日より開演十六日夜の出し物は總ざらひ、錦山成金、懷胎學校にて幕合には筑前琵琶の演奏もありて入場無料

◎大正館の出雲節　大正館に出演中の名古屋藝者の出雲節には何分當地には始めての珍らしきものとて每夜破るゝが如き喝采を受け大入を占め居れり

◎有樂館　十六日は[illegible]あり



▲足跡世界に遍ねき人として人も許しわれも許す久水外事課長は先日の暑さにも一向暑いやうな風がない▲のみならず若い連中を見ると口癖のやうに『朝鮮に居る者が暑いとか避暑とか云ふのは間違ひだ』と云ふ▲僕などが印度に居た時は室內の籐椅子までが九十度にのぼり何處にかけても汗だら〳〵で殆んど起立してゐるのが一番涼しい位ゐのものであつた暑い涼しいは全く氣のもち樣一つさ▲それでは夏の涼しいところはと訊ねると『山ぢやね』▲しかし春夏秋冬のない常春の國は南阿の喜望峰地方であすこばかりは年中春の國で棲みよい處だ▲モ一つ誰の序に課長の宅には梧竹の書幅が澤山ある▲ことに梧竹自身が碧梧桐と竹とを描いた大幅ものはなか〳〵の逸品らしいのであるらしい▲書も亦澤山あるさうだがこれは梧竹が燕京で課長の宅に泊りこみながら揮いたもので當時支那人間にも日本の書家としてなか〳〵の大持てだつたさうな

◎八月上旬氣象概況　[illegible]

てんかん　ヒキツケ　困難の方切手三錢送れ永年の病いも自宅でなをす最善の良風をよゆ　名古屋市中區南小川町　救生館

最新刊　天然生活法 八五　愛尋植物鷄用錄 一、六〇　南洋貿易事情 三、五〇　滿洲の經濟 七〇　滿蒙研究要覽 二、〇〇　野中元三郞著 新譯韓非子 定價九〇　鐵道會計 二、五〇　大藏省令要義 各一、八〇　全鮮鐵道沿線名所旅行案內 一、二〇　中村敬宇先生遺文 學生及青年の修養良材 作文軌範 定價六五　打碁と要 一、二〇　朝鮮金剛山探勝記 一、二〇　鏡守の森と盆踊 九〇　日鮮對譯警察用語 五五　大阪屋號書店　京城本町一丁目

京日案內　普通一回前金五十錢　番外一回前金

診察院(姓名在社)　市內中央恰好の場所　大至急　431

藥劑師又は藥局生採用す希望者は　京城府蓬萊町一四九　保田正昇　432

外交員採用　月給十五圓以上三十圓迄を給す履歷書携帶來談あれ　京城花園町一二二　帝國圖書普及會支部　434

樂器萬年ペン物理機械寫版の修繕　大和町ウツボヤ書店工作部　電二五二七　305

美顏術營業並に美容洗粉販賣仕候に付是非一度御試しの程願上候　京城本町四丁目　東洋美容館　417

宅地貸却　一住廿三坪御望の方は左記へ照會　場所櫻井町二の一壹　市外龍山　富田兼吉　423

店員入用　十五歲より廿歲迄　市內に確實なる保證人を要す　京城本町四丁目　米穀商質屋業　佐野屋(電話一四九二番)　433

湯屋讓渡　委細は御來談を乞　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番　427

看護婦入用　櫻井町一丁目(電話二一七一番)　池上醫院

ほねつぎ　うちみくじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　342

賃乘自働車　京城南大門　開合　京城水標橋通り　電話二一三八番　春川發前八時　京春自働車商會　松田壽男　360

鑛物定量分析　本町一丁目　明治町　江戶川橫入　田部分析所(電話二七六　二七七番)　411

資本金壹百萬圓　株式會社京城漢湖農工銀行　不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候　支店所在地　開城、春川、淸州、大田、江景、忠州、論山、鐵原、公州、鳥致院、遠山　普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候　支配人

あらゆる蟲退治は　田澤はいとり粉　●諸官署實驗有効證明●　添付の撒布器から霧の如く撒粉して心持よく蟲は勿論左の諸害蟲を全滅せしむる重寶なる驅虫劑なり　室內の虫　蚤、蚊、蠅、油虫、南京虫等　植物の虫　菊、朝顏薔薇等草花の虫、蔬菜果樹、樹木其他農作物の害虫　動物の虫　牛馬の蝨、虻、羽虫、だに、毛蝨等　人畜植物無害　定價十五錢 廿五錢　徳用四十五錢 一圓十錢 一圓二圓(各藥店にあり)　東京本町三　里村商店

內科小兒科　入院隨意(普通病室並に隔離病室)　京城旭町一丁目　小林醫院　醫學士　小林千壽　電話六九二番

すもゝ會演舞　於有樂館
暑さの砌り四方御客樣御健勝被居候段奉賀候陳れば私共豫て東京より花柳芳之輔、六鄕新十郎の兩師を招き藝道を勵み居候所今回李花會を組織し明十六日午後七時より有樂館に於て演藝會を開催致す事と相成候就ては當日は是非御來場何分の御聲援呉れ〳〵も御願申上候
番組　第一 清元 花かたみ　第二 常磐津 松島　第三 長唄 鞍馬山　第四 長唄 志賀山三番叟　第五 常磐津 靫猿　第六 長唄 吉原雀　第七 外記猿
補導　花柳芳之助　六鄕新十郎
京城　李花會

醇長無双清酒　有薰　無害衞生　品質無双　釀造元 福岡縣城島町 首藤合名會社　發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番　釜山港幸町 首藤釜山支店 電話長三四三番

營業品目　肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料　石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達　京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番　京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六　九七三　振替口座京城〇〇四番

花筐（八三）

松田竹の人作

京子は重ね〴〵の誘惑に遭つて、其貞操を守るのは、一人は戀の爲めで、一人は利欲の爲めで、今の世の中の荒つてゐることが知れる。自分のやうな操を守てゐる清き人間は、此荒つた世の中にゐるのが厭やでならない。だから自分の身と同じやうな清い逗子の海、然かも月の光りで、一層清く爲つてゐる此逗子の海で、清い死を遂げやうとまでは思つた。けれども、投身は、一大勇猛心で決行しなければならなかつたから、死にたいとは發作的に思つたが、いざ決行する迄の勇氣はなかつたのだ。

から其儘佇立して、海を眺めてゐた。個、濱邊をブラ〳〵歩行いて、月の光りで、砂路に長く引いた自分の影を踏みつゝ來た浴衣がけの人があつた。

其人は、濱邊に呆然と婦人が一人でイんでゐるのを、不審に思つたらしく、瞳を定めて、凝乎と京子を見た。

『其處に立つてゐらツしやるのは市野さんぢやありませんか？』と訊くと、京子は瞥視と見て、

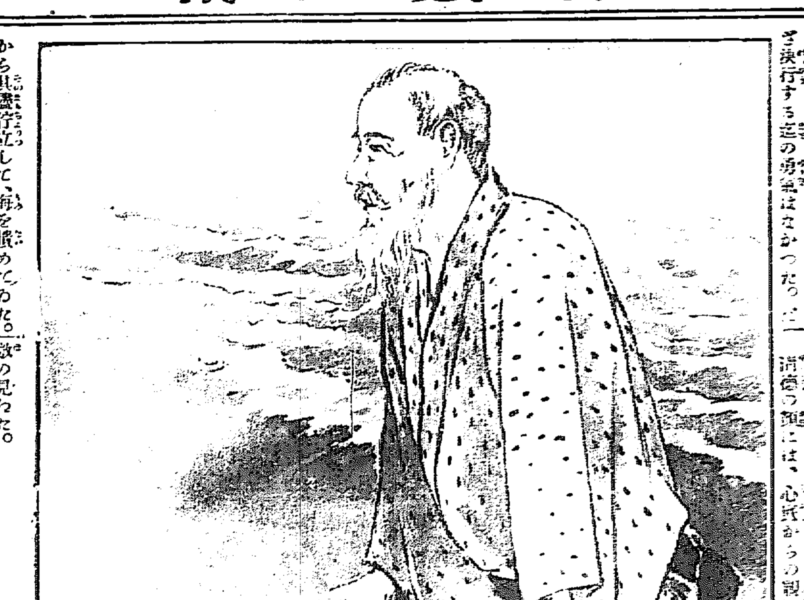
『おや、先生でゐらツしやいましたね。』と應へて、輕く頭を下げた。

『月でも御覧に爲つてるのですか』

『よい月でございますわね。』

『餘り月が良いもんですから、私も遂浮かれて散歩に出て來ました。』

此人は、京子が頭腦の悪るかつた時、診察して貰つた樫本清徳といふ醫師であつた。



清徳は、年齢六十に近く、鼻下に白い髭の生れた、温厚らしい人であつた。

『先生、後程御伺ひ致やうかと存じましたが、少し氣が鬱に爲つたもんですから、此處へ參つて海を眺めてゐたのでございます。』

『又何にか御考慮へに爲つたのぢやありませんか、御考慮へに爲るのが御頭腦には悪るうございますから、御考慮へに爲るやうなことがありましたら、それを邪睛から御捨てになつて了つて、御心を洗ひ流けてゐらツしやることですね。』

清徳の顔には、心底からの親切が徴の見ねた。

醫は仁術であるから、醫師たるものは心が優しく、そして満腔の熱情を病人に注がねばならなかつた。清徳は丁度これに當て篏まる親切で情の深い人であつた。

人は、幾ら口頭で程のいことを言ふても、心の底からの温情がなければ不可ない。小兒を愛する場合に、其歡心を沽はん爲めに、縱令玩具を買ひ與へても、心の眞底から愛を注がねば、眞から懷くものではない。これは小兒ばかりではない、大人も又然うであつた。心の眞底からの温かさを以て接したから、寡言で寧ろ卒氣ない方ではあつたが、一と度其温容に接すると、何人も懷かねものはなかつた。だから京子は、長い交際こそないが、頼みに爲る人だと信じてゐた。

『宅へ往らツしやる害だツたとすると、御工合でも御悪るいのですか』

『厭やなことを考慮へたもんでございますから、氣が少し鬱には爲りましたが、別段診察て戴く程でもございませんです。それよりか外に少しい御願ひがございましてです。』

『怎麼ことですか？……何んなら今から、宅へ往らツしやつたら如何です。』

『御伺ひしても宜しうございますが御邪魔でせうから、此處で月と海を眺めながら、心を晴れやかにして申上げやうと存じます……』と清徳に從しくいふて、傍に引き揚げてゐた漁船の舷へ腰をかけた。

日報俳壇

蟬

岡に泌む釣瓶の水や蟬の声　運麒
灯に來て啞蟬闇に放ちたり　同
蟬鳴くやポプラ光チラ〳〵陽　同

月見草

牛の影地に仄かなり月見草　同
燈台に灯ともる頃や月見草　同

夏の川

夏川渡る生徒等に趣出て[illegible]　ゐ子
[illegible]兒に汐ずる來る夏の川　同
給水夫に胡鵲晴るゝ夏の川　芳樹
夏川の胡鵲に鵜が跳ねる音　同
夏川の土手草に衣は干されけり　淺行
給日傘の兒が漁る夏川に淺り　同

淺江

夏の大河暮れ行く桃山の灯に　義勅
夏川を起つ鷺に草原は昏く　同
夕日さす砂近や夏の川楯に　同
夏川に牛車曳く人洗ひ居る　奇潭
夏川に魚を網する裸の子　同
尻下の砂が掘れるや夏の川　同
砂金掘る鑛夫の群や夏の川　天然松
耕夫ジツと夏川に足浸し居り　同
驢馬に續いて飛脚渡るや夏の川　同
神輿渡御の艤装ひや夏の川　非水

黄村氏の爲に（山田吟社）

指宿黄村氏の技師としての在留八年は決して短くない。而して其の功績と印象とも決して貶くない。氏の江陵會員として又別に吟社句會を興したのも四年三月頃であつたらうと思ふ。其後今日迄に於ても吟しい俳道は決して消ゆべくも思はぬ乃ち一夕の俳莚に八年の知己を送る。又喜い哉

誠

涼しさや割る竹に飛ぶ白き露
田三界夜越と極めて草涼し
蟋蟀や刑事勤め來て灯の暗き
涼しさや古塔に掲げし額の文字
蝙蝠や灯す扇の天井裂
帆柱の太き我克や蚊喰鳥
引潮に蝙蝠出づる磯邊哉
苔額の舊毀に咲いて鈍き哉
涼しさや灯とらし頭な舟の上
レールやけて蛍額のはびこり
涼しさや茄子に氷やる水嘲侍
蝙蝠や渇の人自ら浮く
蛍額に迫る西日や沼の風
涼しさや竹欄干る衣の音

（女朶　木刀　ゝ不　孫秋　ヰ群　一佛　鳥城　雲水　方外　波山　桂川　秋女　さ文　錆女）

送別

送り來て共に濡れたる夕立哉
昨日まで眺めし百合の移されて
秋は小風に戰ぐ青田哉
動農の功を語りて明け易き
試植成就今を盛りの青田哉
農業學校に告別式や風薫る一
情然ねて殊更尊き別れ哉
別るゝ夕風なきに青田戰きけり
風薫る黄海の揚詩も發きませ
行く君を惜むか夜な鳴く水雞
夏草や君去りて力なかりけり
榮成りて君行く方や風薫る
惜まれて送らるゝ人や青田風
君送るに今宵蛙の情罩めて
茂る一草一木に之へ落淚哉
人去つて稻妻ひとり打ちてあり一

（石香　波山　雲窓　不酔　奇石　空堂　雲水　方外　來刀　鶴城　一佛　桂川　孤秋　錆　友祥　死雷）

留別

百合花見ずして友に別れ行く　黄村

新刊紹介

▲教育の實際（一ノ一〇）教育家の必讀を要すべきもの價値あり趣味ある記事增加せり（一部十錢東京日本橋區本石町三敎育實際社）
▲鮮滿之工業（八月號）（一部二十錢京城明治町一ノ七一其社）
▲水産界（四一九）（一部二十五錢東京[illegible]大日本水産會）
▲都會及び農村（八月號）（一部十五錢東京麹町平河町五ノ三六[illegible]）
▲青年界（八月號）（一部十錢[illegible]青年社）
▲農業世界（一二ノ一〇）農業雜誌中第一位に推すべきもの（一部二十錢東京日本橋本町博文館）
▲英語精習（一一）（一部十五錢東京[illegible]其社）
▲エハナシ（九月號）（一部八錢東京[illegible]東京出版社）
▲西洋畫報（八月號）（一部二十八錢東京[illegible]其社）
▲學生（[illegible]）[illegible]
▲養鶏と園藝（四ノ八）（[illegible]）
▲柴石歳誌伊澤修二先生追悼號（[illegible]）

讀者の領分

▲不斷筋を徒歩で往[illegible]來する人は[illegible]時に[illegible]くる自轉車、[illegible]、荷馬車、[illegible]機械を忍ることは出來ないのみならず前方より外を見ることの出來ぬ不自由な人間は如何に努力注意しても時々無慘な目に逢はされることがある恰度獨逸潜航艇にピク付乍ら地中海を航行する聯合國の運送船の樣な氣で居らねばならぬ去一日の晩此恐しい自轉車と厄介な人車とが偶然にも衝突したのを目擊した我輩は何んだか其所に微妙なる攝理が存在するのではないかと想つた（カッキ居）▲京城の活動寫眞經營者中には徒に排他を事とするのか聲ば他館の入口や附近に如何はしき看板を出し興行防害的行爲を敢てし一面街路美を傷け心ある者の同情を失する事●なるを知らぬとは寧ろ憐れむべき者だ（街路美提唱生）▲市内電車が疾走に伴ふ普通の音響を發するは公衆交通機關として已むなきも現在運轉中の三臺の如きは夜中速力を増し居る際恰も地震の如き地響と雷の如き大音響を立てゝ疾走するには沿道の居住者の迷惑甚だ鮮らに病人の如きは神經を惱ます事一方ならず速かに改良すべし（沿道の住人）▲日夜恐ろしいイヤな爆音を立てゝ走せる自動車が一臺あるが彼れには閉口だ（太平町住人）▲朝鮮には大分内地から觀察團も來るからクックの案内社見た樣なものを組織したらお互に實に便利である誰かやつて見ては何うだらう（觀察團の一人）▲此頃狂犬の話を餘り聞きませんが最市中には居りませぬか（恐犬病生）▲風浪坊君へ……原稿全部を拜見した上でなければ何とも申されませぬ（編輯長）

商況

下期　正米特電

五日後場（押目買料を買ひ關係あるも閑氣配し）

大阪三品特電

十五日後場

八月限	四二、九〇	四二、八〇
九月限	四二四、五〇	四二四、〇〇
十月限	[illegible]	[illegible]

十三錢の［illegible］にて當地當日來不申中十九圓七十五錢先十九圓二十九錢と同事に寄付ける[illegible]勝にて三十一錢と跳れたるが戻りは又實物多く二十九錢と押して動かず結局三十錢丁度と保合の裡に節付けの値段會

▲美味なる▼
虫下し最良藥
定價五錢●十錢●廿錢●五十錢
岩崎大海堂セメンノ菓子
美味なる　▼虫下し最良藥　さんとにねくわー
商標　珊瑚篤尼湼菓子
本舗　大阪天王寺烏居前角　岩崎大海堂
▲内外藥店にあり
主治　蛔虫諸症、猶の蟲、蟲熱
效　夜なきの蟲、乳のあまし
能　蟲腹いたみ、痫熱の蟲
蟲胸あしく、勞熱の蟲
蟲せき、驚風の蟲
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意の乞ふ
▲廿錢のは卅一錢分入り一箇入一錢
殊よく御用に[illegible]です

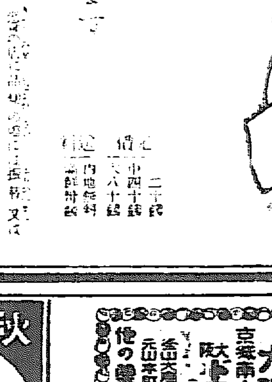
あぎ　そばかす　ほくろ　イレズミ
●全治して喜び還散が山の如く著候す
治療ばハチになる今なをせ
醫學界に名聲有諸軍一等軍醫[illegible]
日宮省[illegible]博士先生が數年間苦心研究の結果發をつけた
[illegible]
ハタケ人
任意な治療で治療しても効能おとりの人も[illegible]を送れば一日も早く三錢切手封入「東京府下淀橋町柏木百二十二番地東京國愛藥院」宛にて申込めば無代進呈す

苦境から男のひみつ病
專賣特許　眞空療法
東京順天堂病院始め博士學士御證明の特許手島式眞空器は一人で簡單秘密に局部に外用し得て一回毎に卓效生殖器皮むり小や現れ早漏、神經衰弱等に應用を要せず特に局部に治す必要なし
（[illegible]）新案特許あり其判別を誤る勿れ
ば國入說明書を送呈す
東京京橋木挽木町三ノ二五　東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地　大阪新療法研究所
樂境へ　無代進呈

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通京城日報社代理部　振替二〇〇〇番

特製鶴之卵石鹸は現代の化學に於て攻究すべき範圍の總てを盡したる最善最良の石鹸にして其品質其芳香いづれも需用者の期待と合致すべき優等品なり。普く江湖の御批判と御愛用を俟つ!!!
發賣元　東京市馬喰町　淺井支店

發賣　特製胃腸　下痢止
下痢にヘルプ
○夏の下痢病は多く、不消化と黴菌作用より起る。故に下痢止藥は消化と殺菌力の最も絶大なるヘルプを用ゆるが一番安全也
旅行にヘルプ
▲旅行にヘルプを携帶されば▲船中下痢が起つても▲汽車中腹が痛んでも
▲旅宿で食傷した時▲途中で醫者が無くても▲安心して手當が出來ます

いよ〳〵風采の優雅な紳士は
本邦唯一の家庭化粧料
ホーカー液を御賞用になります
浴後寢前　後に必ず


[illegible]
發賣元　東京[illegible]　堀越嘉太郎商店　振替東京一五六番

淋疾内用
プレノリン
ドクトル松本甫一郎先生の創案により製出したる本品は速に體内に吸收分解せられて尿に強烈なる殺菌防腐性を與へ兼て尿量增加の作用あり、而して胃腸障害其他の副作用なきを特色とす。
急性慢性淋疾消渇、膀胱、尿道加答兒等に賞用せらる。
宇野博士、緒方博士、櫻根博士は本品に對する治驗報告を寄せられたり。文献贈呈す。
粉末錠劑の二種あり　各地有名藥舖にあり
東京室町　三共株式會社

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸　八月廿五日　後五時出帆
○立神丸　八月　日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○和歌浦丸　八月　日後十時出帆
○立神丸　八月廿四日　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸　八月　日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸　八月　日後六時出帆
佐須奈、厳原、壹岐、博多行
○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大阪之築、大連行
第廿共同丸　八月十五日午後八時入港　八月十六日　十時出帆
朝鮮總督府命令船
大連にて[illegible]
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
京城取次店　元山代理店　南大門（電話二六八一一）　田口回漕部　河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸　八月　日後四時出帆
○大有丸　八月廿四日　後四時出帆
○秀吉丸　八月　日後四時出帆
▲神代丸　月　日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

醸泉金泉間自動車發着時間
上り一番　二番下り
金泉繩居自動車支部
▲小荷物運搬料金仕り候　金泉電話四八番

秋蒔
種苗目錄
御申込次第無代進呈
東京市麹町區内幸町
東京農場事務所
種苗鑑査主任用邊農學士
▼優良無比▲　▼精確保証▲

百圓進呈
りん病　ばいい毒
帝國醫科大學病院
諸病の主藥は治療劑として、醫學上最有効と確定し
分析料として百圓進呈
▽あらゆる治療を講ずるも効あき患者にも一度本藥の試驗あれ
にせ物あり
大阪有田
京城南大門外韓皇道　大阪　ドラッグ　京城　南大門外　南鮮　大邱　ドクラ
他の藥店に販賣を不許